男女貞潔之理想　會長　島田三郎

公娼廢止之主張　副會長　安部磯雄

6－829

（大正七年十一月第三種郵便物認可）
（大正十一年十一月十日印刷納本）（每月一回十日發行）

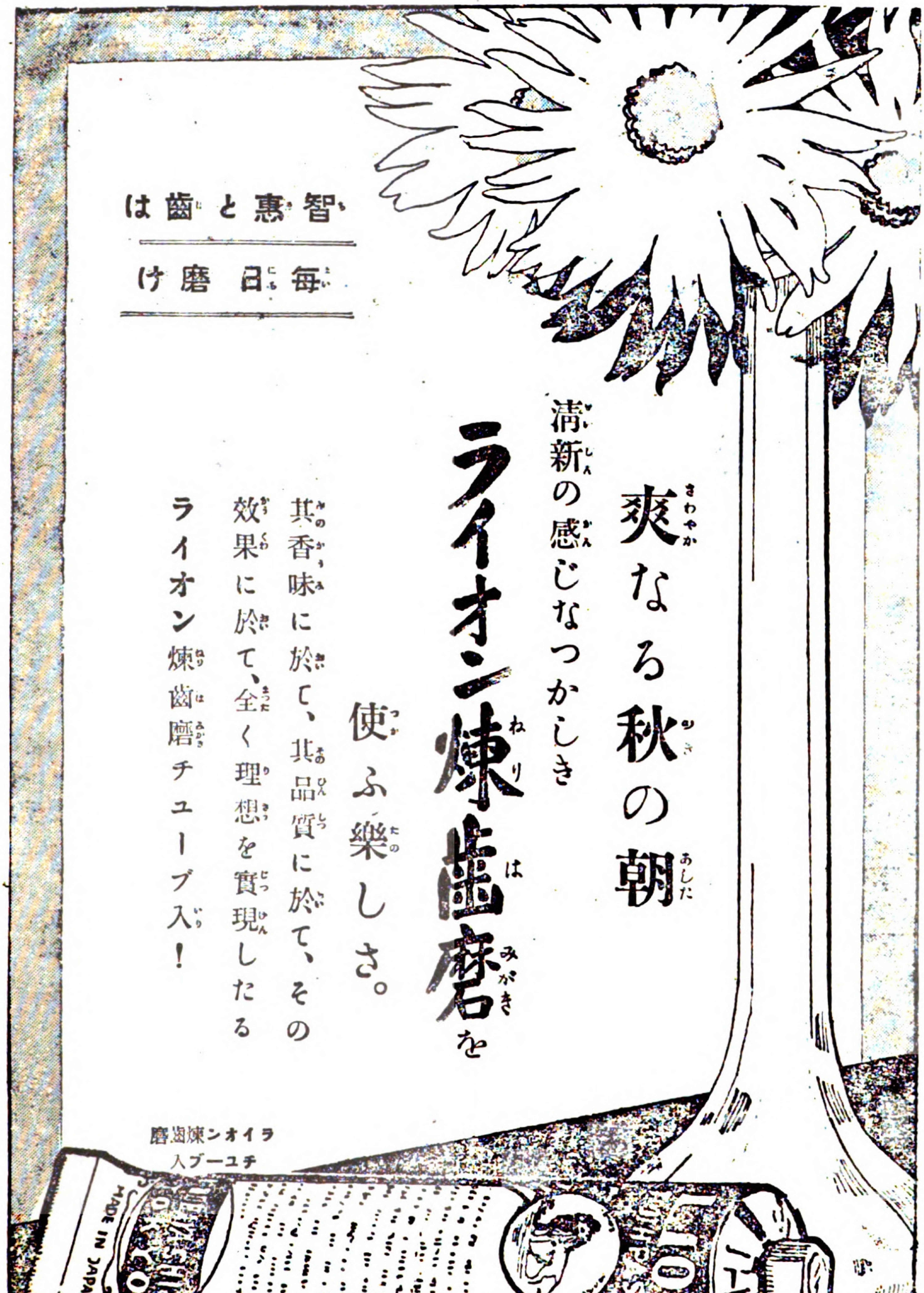
廓清

第十二卷第十一號

□淀橋町會の奇怪なる議決……廓清會長　島田三郎
□公娼全廢と產兒制限……早大教授　安部磯雄
□社會運動に於ける道德觀念……一條忠衛
□廢娼運動の徹底的態度　辯護士　布施辰治
□世界の植民政策と朝鮮問題　代議士　永井柳太郎
□十二社二業設置請願と反對運動……村上雄策
□藝妓及待合論……高島米峯
□藝妓論……救世軍大佐　山室軍平
□惱める婦人に代りて……東京女大學監　安井哲子
□兵庫縣の公娼改革に就て……木藤冷劍
□編輯の後……記者

東京　廓清會本部　發行

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY


爽なる秋の朝
清新の感じなつかしき
ライオン煉歯磨を
使ふ樂しさ。
其香味に於て、其品質に於て、その
効果に於て、全く理想を實現したる
ライオン煉歯磨チューブ入！
智恵と歯は
毎日磨け
ライオン煉歯磨
チューブ入
MADE IN JAPAN
LION

廓淸
THE PURITY
第十二卷
第十一號

淀橋町會の奇怪なる議決

賣淫の賦金を以て智德養成の原資に充てんとす

島田三郎

近時社會の風教が亂れ、藝妓を社交の必要機關の如く感ずる汚風が、一般に行はれんとする爲めに、これを機として一個の私利を營む鄙猥の徒が種々の口實を設けて、或は三業組合、或は二業組合を組織するもの頻々として各地に起つて來た。文化の程度低き地方の事として、これを堰止めるの運動を遠く中央の廓淸會に委囑するもの一二に止まらない。併し政局の中心であり教育文化の高度に居る東京府下に、同一の汚風が浸潤し來らんとは今日まで思はなかつた。然るに郡部とは云へ實際の情態は東京市内と同一にある東京府下淀橋町に、一種不可思議の口實を設けて二業組合の特許を得んと運動するものあり。町民の知らざる間に町會が傍聽を禁じ全會一致を以て祕密に之を議決して直ちに警視廳に提出することあらんとは、吾々の意外に感ずる所である。町民に取りては寢耳に水とも云ふべき怪聞にして、我が會員の耳に達して唯驚愕の外はない。前號の誌上にその請願書の全文をかゝげたから（三七頁）本誌の愛讀者諸君は定めし一驚を喫せられたであらう、其の趣意書に依るに

「二業組合の設置の必要の理由は、近時町の繁榮が遽に加はり、隨つて人口著しく增加して小學校の不足を告ぐる。これが爲め一校を增築するの必要を感ずる。又道路下水等の修築にも町費の不足を感ずるが、その出處に苦しみ千思萬考の結果二業組合を設置して、同町内の十二

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

社境内に藝妓及び待合の營業を許可し、これに税を課して町費を補ふの計畫を立てた。現在同境内は私娼が徘徊して風俗を亂すので、藝妓を置いてこれを取締るの一端とす」との趣意である。

讀者諸君はこの趣意書を一讀して何の感を起すか。一見してその詭辯たることを知らるゝであらう。先づ大體その主張の極度に矛盾して居る事がわかる。土地の繁榮が增して人口が殖えた。此の前提の言によるに町内の商工業は進んだのである。富は加はったのである。納税の戸數は增した筈である。地價も上った筈である。然らば町税はそれに割合って增課せらるべき道理である。然るに町勢增加の方は見遁して置き、町税の自然に增加すべき數にあることも知らざる眞似して、戸數人口の殖えた結果小學兒童就學の數も殖えた一事をさも不意の天災でもあるかの如く苦情を鳴らすとは何事であるか。人口が增せば道路下水の費用も自然に增加するが、それよりは富の方は餘計に增したに相違ない。人口の增加と同一の程度に道路、下水の費用も增加するのは自然の結果である。假令それ等の費用が增したにしろ、土地の繁昌の增したに比較せば、一斑地價の割合は比例して輕かるべき筈だ。然るにこれを口實として二業組合を設置し、淫風汚俗の媒介物たる藝妓、待合の公許を乞ふとは、何たる不合理の擧であらうか。これは第一詐僞虛構の擧と云はねばならぬ。

抑も待合とは何ものぞ、名は殊なるも事實に於て野合の媒介所なり。藝妓とは何者ぞ、三絃を表看板とする賣淫婦ではないか。共に善良の風俗を破る消費機關ではないか。藝妓の税を課する幾倍の濫費を町民に勵ます媒介物ではないか。こゝに待合と藝妓屋とを設置するとせば、之に入り込みて遊蕩する濫費者は何れの人ぞ、やはり町内のものか、その近傍の人に過ぎない。商店の若者もその禍に罹るであらう。良家の息子もこの網に掛るであらう。彼等町會議員は何の爲めに學校を建てんとするのであるか。幼年者の智德を進め品行を淳厚ならしむる目的に外なるまい。この學校を設立するの費用として婦女を誘拐して金錢に購ひ、淫賣婦として青年を誘惑する機關を設置せんとするは何事ぞ。これは理論ではない。各地に實驗せられたる眼前の事實である。

餘り多くの例があるが、此の適當なる事實として、米國の宣教師モルフイといふ人が、名古屋市に英語の夜學校を開いて少年に教授した。十五六歲までは勉強なる、怜悧なる學生であるものが、この年齡を過ぎると不規則なる、放縱なる、然も愚鈍なる少年となるものが多い。丁度學業の進む年齡に達して、俄かに愚鈍の少年となるのは不思議だと、その理由を研究したら、多くは早熟の少年男女の接濟に依つて、その天性の聰明を毀損する結果だと知れた。こゝに於いて藝娼妓淫賣婦の青年の教育に有害なる斯く迄劇甚なるを悟りて、熱心なる風俗改良の運動を開始することとなつた。男女の道に早熟、不規則なることは一般に行はれて、いかに日本の民族を危害することは、この一例によつても知らるゝであらう。恐るべきは賣淫婦の横行である。

然るに淀橋町會議員は此の如き關係を知るや知らずや、藝妓屋待合業の設置をなして、その賦金を以て學校創立の費用

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に當てんとす。これ汚物を播き散して道路の塵埃を淨めんとするの狂擧に類して居る。十二社は假りにも神社ではないか。その地は淸淨なるべき境内ではないか。彼等の云ふ如くその處に密淫賣が徘徊するなら、警察の手を藉りて嚴重にこれを一掃するがよろしい。これをなさずして口を淫賣の抑止に假りて、反つて組織的淫賣制度を起さんとするは、公然と公園を汚し、社地の境内を瀆すものである。過つてこの事許可せられんか、町内の風俗はこれが爲めに廢頽して、社地は遊野郎の幅輳地となり、番頭も店の金を費ひ込むに至らん。良家の子弟も化して遊蕩兒とならん。果てはこれ等の議員の相談會も待合に開く事とならん。滔々としてその禍ひの止まる處を知らざるべし。

從來地方に於てかくの如き請願をなすものは、種々の口實を作りて申請するが、その裏面を探れば埋立地の地價を上ぐるが爲めに遊廓地の請願をするものもあり。これ等の賄賂を受けて運動するの議員もあり、三業組合又は二業組合の手先となり、その利益の分配を受くるものもあり。その結果地方の風俗を紊亂する事は一樣の例である。淀橋の事實も恐らくはこの例に漏れざるべし。それにしても該耳に水の襲撃を受けたる淀橋町の善良なる住民は、一町を擧げて腐敗せらるゝの危機に頻して居る。彼等議員の良心は慨えて居る其證據には此問題を秘密會で議決したので分る、是れ良民の糺彈を恐れ懼りて居る證據である。善良の住人は速かに良民の聲を擧げてこの狂瀾を既倒に廻すの快擧に出でられん事を望むのである。この事一度成れば後に悔ゆとも及ばざる一大事である。

それにしてもあの請願書を見れば一見して、一大矛盾があるではないか。人口が殖えて土地が繁昌するに正しき町税を以って町費を支出する事の出來る筈であるのに、反て支出に苦しむが如き態度を裝うて、背理の徵收手段を要求するは矛盾である。善良の風俗を養ふべき學校の費用を、風俗破壞の藝妓と待合とに求めんとするは奇怪である。この矛盾と奇怪とを見れば、直ちにこの書面は却下さるべき筈である。然るに此願書を警視廳内に留めて日を費すの必要を感じないと思ふ。これを熟考し、評議するの價値もない。速かにこれを却下して愚劣極まる請願を一擧に消滅せしむる事が至當と考へる。標を正して警視廳の當局者に問ふ。今日これを廳内に留めて熟考し、評議せらるゝは何事を評議し、何事を熟考せらるゝのである乎。

婦人の貞操問題を論ずる少數の婦人が、却て一部世人の怨恨を招くに亦是れ自然の勢ならん。されど一般婦人が此悲しむべき問題に就て更に一層完全なる知識を得るに至らば、衆議院の凡ゆる秘密討論にも優りて社會の最も憐むべき此賣春婦の數を減ずるの效力、反て遙に大なるものあらん。假令斯かる社會上の知識を得る事は却て傷心の種子なればとて之を避け、體裁や上品の中に籠城して出でざる婦人に取つては快は則ち快なりとはいへ、又斯かる行爲が如何に社會の偏見と相一致するとは云へ、斯くの如きは決して社會の恐るべき紊亂を救ふの道にあらざるなり。加之、女性が罪惡の抑制に對して多大の興味を懐くは男子の比にあらざるが故に、婦人をして社會に斯かる罪惡の存することを知らしめざるが如きは其の當を得たるものにあらざるなり。

ミー[illegible]ン女史

公娼全廢と產見制限

安部磯雄

公娼と人道問題

私は平常公娼の全廢を主張して居るものであるが、今日直ちに全廢する事はなか〳〵困難な事である。て今回はその根本解決に付いて考へて見たい。勿論公娼制度と云ふが如きものは全廢せねばならないが、何故に公娼制度が存在するかと云ふ事も考へて見ねばならない。そして根本的に解決せねばならない。しかし私は公娼全廢に對して不贊成でもなければ不熱心でもない。出來得るならば全廢したいと思ふ。然るに世間にはこの全廢運動に對して誤解をして居るものがある。反對論者は何時も公娼を全廢しても、數に於いては減らない、公娼が八萬人減れば私娼が八萬人多くなり結局同じ事であると云ふ。これは直接我々の運動に反對する人ばかりではない。餘り反對せぬ人でもよく云ふ言葉であるが、この反對は少なくも我々の立場を了解して居らないから起る誤解である。よし公娼を全廢しても、私娼は減らないかも知れない。けれども公娼を全廢すると云ふ事は正義の上から見ても、人道の上から見ても正しい事と思ふ。今日の公娼制度はその實人身賣買である。婦人の自由を束縛して醜業を行はせるものて、一種の奴隷制度である。それ故に公娼を全廢する事は醜業の良いか惡いかは別としても、その人の自由を束縛せぬ丈けでも良い事である。自由を得て居ると云ふ事はその人自身に取りても、又外から見てもよい事である。よし醜行するものがあつてもそれはその人の自由意思によつてするのであるから、もし病氣などになつた時には、無理に職に附かなくともよい許りでなく、醜業の罪惡なるを悟るならば明日からでも、止めんとせば止める事が出來るからである。さうした自由がある丈けでも少しは我慢が出來る。然るに公然と人の前に晒されたる公娼制度に對しては何うしても反對せざるを得ない。

最もこれは風紀上の問題もある。かゝる事は隱れたる所で行はれるならば未だしも、一見何人も氣付く樣に公然と存在して居るのは實に悲しむべき事である。娼妓は勿論藝者にしても同じく奴隷制度て、公然と風紀を惡くするのはよくない事である。例へば下水にしてもあの汚ない水を流すのに、道路の表面でなく、一間とか、一丈とか掘り下げて造るものである。下水は存在するに違ひないからと云うて道路の表面を流したらその臭氣甚だしくて堪へられるものではない。これは社會衞生上から云うてもさうて、公娼制度も是非見えぬ樣にするのが正しいのである。

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

その様に何も公然と人目に付く様にしなくてもよいのであるが、或る人々は反對して、それでは身體檢査がないから病毒は益々蔓延するだらうと云ふが、何も堂々と病院を設けて檢査しなくても、陰祕に檢査を行ふ事が出來ると思ふ。さう云ふ方法で祕密にする方が風紀上から見てもよい事と思ふ。しかし如何にして公娼を全廢すべきかと云ふ問題になればそれは根本的に解決するより外はない。

普通世の中では根本解決の方法として、宗教、或は道德の力を以つて解決せんとするのが多數の人の考へて居る所であるが、それ丈けではどうしても男女の不正なる關係を根絕する事は出來ない。男女の欲求は、食欲に等しいもので、宗教或は道德の力でこれを壓ゆる事は完全に出來得るものでない。唯或る程度まで宗教、或は道德によつて支配出來るが、全然性欲に打勝つてこれを壓ゆると云ふ事は出來得るものでない。昔から禁欲主義が失敗に終つたのは最もよい實例である。今日は決して性そのものを穢ないもの、卑しいものと思ふ思想はなくなつた。宗教や道德によつて性欲を壓へて居るのは消極的な方法である。もつと積極的な方法を取る事がよいと思ふ。

早婚と產兒制限

男女の不正なる關係を根本的に無くするには、結婚を早くする必要がある。早く結婚が出來れば娼妓は次第に無くする事が出來る。結婚の延期は引いて男女の不正なる關係をもたらす故に、これを拒ぐにはどうしても早く結婚する必要がある。田舍から東京に勉强に來て居る多くの青年學生の中には妻帶して居るものもあるが、かうして勉强するならば情欲の滿足を得る爲めに娼妓と不正なる關係を結ぶ樣な事がなくなると思ふ。この妻帶して勉强すると云ふ事はよい方法である事は、多くの人が知つて居るけれども、資產家の息子か何かでなければ金がかゝるので知りつゝも斷行が出來なかつた。唯これは有產階級のみがやるべきものだと思うて居たのである。資產の餘り多くない人は止むなく、相當の地位なり財產なりを得るまでは結婚を延期して居なければならなかつた。

然るに產兒制限の運動が起つてからは實際上から解決が出來る樣になつた。それは結婚には必ずしも多くの金がかゝらないが、子供が出來ると云ふ心配があるから結婚を延期して居たのであるが、自由に產兒の調節が出來得るならば、その心配はなくなると思ふ。それのみならず結婚は必ずしも獨身生活よりも金がかゝるものではない。だから子供さへ生れなければ結婚を躊躇せぬ樣になるから、從つて不正なる男女關係が無くなる事は明らかである。

かう云ふならば或る人は云うであらう。早婚が流行する樣になれば國民の身體が、性欲亂用の結果弱くなりはせぬかと、併しそれは現在の樣に性に關する知識を知らない、又知らせない結果から起こる弊害であるが、それ等の人が次第に性に關する知識が增して來ると、亂用する樣な事はなくなると思ふ。又凡ての人がさうなればこの方面に關する良い指導書も續々と現はれて來るから、さうした心配はなくなると思ふのである。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

子供を生まない則ち產兒制限と云ふ事は決して手術をする事ではない。又危險なる方法によるのでもない、唯一時子を生む事を止めて置く丈けて、欲する時には自由に得ることが出來得るのてあるから少しの心配もない。かうして一般に產兒制限が行はるゝならば、則ち一班の人がそこまて行かなければ、藝妓、又は娼妓の全廢は出來得ないと思ふ。

かう云ふならば或る人は云うてあらう。もし一班に產兒制限が行はれるならば、藝娼妓と云ふものでなく若い男女の間に、今よりも惡い不正なる關係が出來はせぬかと。けれどもこの見解は產兒制限の運動に關して誤つた見解を得つて居るからではないか。或は一時若い男女の關係が惡くなるかも知れないが、それは過渡期の常としてさうした結果を見るかも知れない。けれども若い男女の三分の二が結婚して家庭を造る樣になれば、さうした心配も自然になくなるべき筈てある。最も世の中には夫婦關係丈けては滿足が出來ないと云ふ樣な種類の人もないてはないが、さうした人は所謂變態性欲の人で極く少數の人てあるから決して心配する程の大問題てはない。現に和蘭は產兒制限の最も盛んに行はれて居る國てあるが、男女の風紀は外國よりも餘程善いのてある。だからこの運動の結果に付いて心配するのは一種の空想に過ぎない。私はかうして早婚する事によつて男女の風紀が矯正されて行くと信ずる。

要するに公娼を全廢すると云ふ運動も社會の人心を矯めて行く上に於いて必要てあり、私もさうせねばならぬと信じて居るが、これは部分的てあり一時的てあつて、根本的に男女の風紀を正さんとするには、若い男女が早く結婚する事てあると思ふ。この點に關して世の識者がもつと眞面目に考へてもらひたいのてある。

江戸川端の悲劇

記者の高橋君と二人で江戸川端の大側を歩いて居ると、一人の男が子供を抱いてぶら〳〵やつて來た。するとその後から妻君らしいのが何か云ひながら追ひかけて來ました。私等は二人で何處かへ行くのだらうと思うて居ると、男は足を揚げて女を蹴つたのです。若い人によくある戯事かと思うて居ると、やがて又も烈しく蹴つたので女は危く下水に陷らんと致しました。女は男をうらむが如く人前があるのできまり惡氣げに立去りました。かうした情況は貧民窟へ行けば珍らしくない程多くあるし、私の知つて居る女でもかうした暴行を人前で夫から受けたものも何人かあるが、それにしても山の手である江戸川端で、公衆の前にこの暴行を見やうとは思はなかつた。かうした不道德な行爲、法律上罰せねばならぬ犯罪が妻であると云ふ理由のもとに何のやましい心もなしに行はるゝとは何事であるか。我々はこれを見た時に日本人の心の中には根本的に女性に對する虐待觀があるのではないか。少なくも妻に對しては一個の人格を有するものとして尊敬する念を持つて居ないのではないかと思はざるを得なかつた。この女性に對する侮蔑心が引いて平氣で公娼の存在を認め、これにたわむるゝを何とも思はぬのではないであらうか。この弱きものに對する暴力が存在する間如何に軍閥打破を叫んでも何にもならぬ。薩長の軍閥が滅んでも、家庭には依然として軍閥が存して居る。恐らく各人の心に問うて家庭內に軍國主義なきもの幾人ありや。この軍國主義がやがて妻を輕視して待合を要する心理を生み、女性にのみ貞操を强ゆる法律となるのである。江戸川端に於ける偶然の一事件が多くの日本人の家庭を象徴化して居るものであるを思うて、その無分別なる男を惡むと同時に日本人の女性觀を根本より改造せねばならぬ事を痛切に感じたのである。

村上生

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

社會運動に於ける道德觀念

一條忠衞

一　人格觀念の無き社會運動を棄てよ

こゝで社會運動といふのは、社會主義や共產主義や勞働問題に關する經濟上の社會運動を指すのである。此等の社會運動は道德に對して如何なる態度を取つて居るか、又た道德上から考へて見て此等の社會運動が如何なる意義を有たなければならぬかは頗る重大な研究問題である。この論文ではこの問題に就いて考察して、社會運動に於ける道德觀念を闡明したいのが目的である。

現代の社會運動を見るに、舊來の傳統として奉じて來た唯物史觀の域をまだ脫して居ない。社會問題を唯物論的に機械論的に解釋して、その宣傳や實行に浮身をやつして居る者が大多數を占めて居る。經濟制度の改廢によつて道德も哲學も其質のものを生み出すと考へて居る。人生の理想は物質的環境の世界から到來するものを信じて居る、それて眞個の完全なる社會的生活を求めようとするには、先づこの現在の經濟制度を革命に訴へて、一擧にして崩壞するより外に最良の方法が無いと主張するのである。卽ち赤旗を立てゝ破壞より建設へと叫ぶのが今日までの社會運動の常道であつた。そしてこれを科學的なる社會運動として信用して居たのである。

それには其れ相應な理由があつた。社會運動が科學的社會主義の題目によつて一種の科學となり、資本や勞働に就いてこれを唯物論的に機械論的に考察して、經濟制度を物理現象の如くに自然科學視した結果であつた。この見方は何うかと云ふに勿論不都合なものでは無かつた。資本や勞働に就いてそれを自然科學的に研究して、その法則を發見しようと努めることは極めて眞摯な態度であつた。理想とか目的とか演繹とか云ふ觀念を用ゐずに、唯だ觀察と實驗と歸納とを用ゐて眞理を發見しようとしたことは、一種の世界觀として是認することの出來るものである。數學でも物理學でも、生物學でも人類學でもこの見地に立つて眞理を探求して居ることに對しては、異議を挾むべき性質のものでは無い。現代の物質的文明は專らこの自然科學的法則の發見によつて開拓されたものである。それで經濟制度の改造が科學的な社會運動によつて唯物史觀的に解釋されることは大に意義のある事である。これを頭から貶して掛かるのは誤つて居るのである。

併し乍ら人間の世界觀は獨り自然科學的世界觀を以て代表して居るものでは無い。そこには色々な世界觀がある。美の世界觀もあれば、善の世界觀もあり、神の世界觀もある。そ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

して此等の世界觀は各の獨立して存在することの出來るものて、或る世界觀を以て他を支配するものでは無く、相調和して圓滿なる統一的世界觀を作爲すべきものである。殊に自然科學的世界觀は法則を統一する假設といふ根本的原理を有して居る。これは自然科學の領域を脫して居る概念であつて、人間の規範意識によつて可能されて居るものである。自然科學の法則は人間の規範意識によつて演繹された歸納的事實である。卽ち吾々の人格に於ける當爲によつて自由的に認識された經驗であつて、主觀的な普遍概念によつて統一された特殊的事象である。それて自然科學の法則は人間の人格によつて主觀的に可能され、有意的に統一されて居るものである。そしてこの人格的意義のない自然法は、人生には無意味なものであり、存在の價値の無いものであり、眞に無用の長物たるに過ぎぬものである。

今、唯物史觀によつて自然科學的に構成されて居る社會運動の法則なるものも單獨な世界觀であるけれども、その法則を統一して居る假設は社會運動の法則以外の普遍概念によつて作爲されて居るもので、人間の人格を離れて實在して居るものでは無い。人格の主觀性によつて有意的に統一され、人生の意義により理想により目的によつて可能されて居るものである。社會運動の法則そのものは理想もなく目的もなく、單なる自然界の經驗的事實であるとして、人生の上から意義を與へられ、理想と目的によつて評價されて居るものである。社會運動の法則なるものが吾々の人生に價値があつて、人間の社會的生活に大なる意義を有して居るのは、皆なこの人生の人格的意義に由來するのである。若しこの社會運動の法則から人格的意義を取り去つたならば何うなるかと云ふに、それは明に人生に於て無意味なものになり無用の長物となることは極めて明瞭に想像し易いことである。從つて社會運動なるものは元と唯物史觀の機械論的産物であるとしても、一面に於ては目的論的に人格的唯心論の上から哲學的に道德的に基礎を與へられることによつて、その當面の要求と特色とを發揮するのである。この意味に於て道德は實に社會運動の法則を人格的に基礎付けて、吾々の社會的生活をして向上發展させる根本的動因であることが了解されるのである。

然るに現代の社會運動はこの人格觀念に乏しいのである。社會運動の法則を唯物史觀的に考へることは知つて居るけれども、これを人格的に目的論的にその假定を可能させる道德的概念に就いて考へる知識程度が極めて幼稚なのである。これは社會運動が眞の黎明期にあることを示すもので、まだ大成されない結果でもあるが、一面から見れば運動に關係する團員がまだ人格的自覺の域に達して居ないことが主なる原因である。そしてこの人格的自覺に達して居ないことを以て社會運動の幼稚なことに歸して反省せずに、一も二もなく社會制度の不完全なことに歸し、經濟組織の改廢によつて更められると想像する結果である。卽ち人間の人格なるものを經濟に從屬させて置いて、物質の必然的奴隷として取扱つて居る結果として、この物質的經濟の桎梏を意志の自由によつて突破する道德的要求が起きて來ないのである。その結果は唯だ物理的に破壞行動に走つて、罷業や革命を謳歌し、過激政策を

Digitized by Google Original from COLUMBIA UNIVERSITY

喜ぶ傾向を助長するのである。

現代の社會運動を見るに、勞働を商品と同視することを避け、勞働時間の短縮と賃銀の増加とを欲求して、資本家の奴隷となることを背んぜぬのは如何にも信念の深い人格的自覺に由來したやうに見え、これより以上の人格的自覺は殆ど聖人にもないやうに想像することも出來るが、仔細にこれを點檢して見れば非常に怪しいものである。似而非なる人格的自覺である。人格的自覺の假面を被つた物質界の奴隷である。人格を言ふ場合は自己の奴隷的境遇を道德的に反省した場合ではなく、その物的苦境を脫離する爲めに設けられた方便な場合が多い。眞に正義を愛し公正を體得して自己の人格を實現する意味ではなくて、單に物質的な經濟的逆境を變更する方法として考察された品物ぐらゐな考に外ならない。從つてこの逆境を變革することだに成功すれば、もう人格の必要も無く、正義も公正もこの世界から放逐しても差支がないと考へるのである。これは從來の社會運動が人格を目的とせずにこれを方便として居た結果である。道德を理想とせずに、これを經濟の生み出す隷屬品と思つて居たゝめである。

現代の社會運動の團員には人格の高い老成した人もあり、道德の修養に努めて眞面目な人もあるが、大多數は人格も道德も辨へて居ない。これを辨へることは知識階級のすることで、これを辨へぬことは社會的に餘儀なくされた無敎育者の立場であるから、不德汚行のまゝで生きて居るのは當然の狀態であると見て居る者が多い。そこで酒を飮むも、女を買ふも、强姦をするも、博打をやるも、喧嘩を始めるも、人殺を行ふも、皆な是れ必要の結果だと見て居る手合が多いのである。輕薄なのも、誠意のないのも、兇暴なのも、殘忍なのも、獸的なのも、經濟制度の致した自然必然の現象であつて、自己の人格とは沒交渉なものであつて、我には責任のないものだと信じて居る者が中々多いのである。これは人格的目的論を否定して、單に唯物史觀の機械論から社會生活を見る輩の一樣に想像する世界觀なのである。

けれどもこれは非常なる誤解である。道德といふものを故意に排斥して居るのである。道德は良心となつて何人にも存在して居る事實である。如何なる貧困に育つた者でも、如何なる磯土に人と爲つた者でも、人格といふものを有つて居る。今日の勞働者が如何に經濟的に奴隷の境遇に居るとしても、人格もあり良心もあり、人間の人間たる資格を立派に有つて居る。縱令高等の敎育を受けない爲めに倫理學や哲學は知らなくとも、初等敎育に於て又は常識に於て修身の何たるかは知つて居る。仁義禮智信の道德的意識は人類の普遍的な道德的意識の產物であつて、特殊な階級者の持物では無い。正義も公正も自由も平等も博愛も、共に人間の常識に存する道德的判斷によつて評價されるものであつて、貧富や聖凡の差別によつて獨占されて居るものでは無い。若し貧が不道德の原因であるならば、富は何うであるか。富も不道德の原因であるとすれば、貧富の社會には共に道德家が成長する餘地がないことになるが、實際はこれに反して居るのである。陋巷の中にも朱門の中にも、相當な人格者が居るのである。貧や富が人格の修養に害になり浸魔になることは明白な事實である

けれども、それが品性陶冶の可能性を消滅するものでは無いのである。人生に於ける人格の人格たる所以は、貧や富などと云ふ物質的條件によつて奴隷化せられない點に嚴存するのである。この一事は實に道徳が人生の根本的目的であつて、如何に自己を取り巻く不完全な社會的環境も、この至善から理想を割り出して人格の實現によつて打開することが出來るのである。然るに現代の社會運動はまだこの道徳的自覺に達して居ないのである。單に古い家屋を丸太で突き倒すやうに、物質的な暴力革命によつて制度を破壞すれば能いと思つて居る。是れ現代の社社運動に於ける最大の過ちである。

二　階級的利己心の煽動を廢めよ

人格觀念のない社會運動は何うなるかと云ふに、動物の本能に從つて野生の利己心を發揮するのである。勿論利己を道徳の標準と考へる場合は學說に從つたのであるが、これを自己の心理的な快樂や利益の上から打算する時には謂ゆる卑しい意味の自利主義に陷るのである。十九世紀に入り產業の勃興するに伴ひ、資本家は頻にこの個人的自利主義によつて資本を獲得したものであつたが、現代は逆に人格觀念のない社會運動の團員が勞働者の個人的自利主義によつて資本制度を崩壞しようと試みるやうになつて來た。自巳の經濟的快樂の缺乏は資本家の壟斷による理由からして、これを掠奪階級を稱して唾棄し、凡らゆる憎惡の念を以て倶に天を戴かざるの仇に解するやうになつて來た。その昔は雇主は雇人を愛し、雇人は雇主の奴隷となつて生命まで賭した忠僕であつた。けれども、雇主は雇人の爲めには生命を賭するものも無く、勞働の剩餘價値を取つて贅澤三昧に耽つて居た。この片務的な經濟的境遇を雇人が內省した時に、自己を被掠奪階級として意識するに至つて、彼等の愛が怒りに變じた。素より人格觀念のない社會運動の團員であるから、資本家が階級的判己心によつて自己を防衛することに汲々たるやうに、同じく自己を防衛することに汲々たる有樣になつた。ところで資本家は勞働者を愛することが出來ず、勞働者が資本家を愛することの出來ぬ爭鬪階級を馴致したので、社會運動は益々この階級的利己心を煽動することになつた。

現代の社會運動に參加する無產階級は有產階級に對して非常な反感を懷いて居る。有產階級を恰も人間でないやうに思つて居る。有產階級は無產階級の膏血を吸ひ取る人鬼の所業と考へて居る。その美しい享樂三昧の生活と自己の穢い身窄しい淪落の有樣とを較べて見て、髀肉の歎に堪へなく感じて居る。そこで怠業を遣り罷業を行ひ、社會革命を渴望するのである。又た有產階級ではこれに對抗して自己の地位を保たうとする爲めに、凡らゆる手段を講じてこれを喰ひ留めようと腐心するやうになる。それで益々戰鬪關係を助長して、平和も寧日もない社會狀態に闖入することになるのである。その結果は露國のやうに暴力革命を斷行した社會も現はれたのである。又た危機一髮の狀態に立ち至つて居る社會も澤山見受けられるのである。

今斯樣な社會狀態を冷靜な立場で考へて見たならば、それは頗る不健全なものであり、不安なものである。人類が二つ

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

に分れて階級的利己心の爲めに、弱肉强食の生存競爭を爲さうとして居るのは實に慘獄たる醜體である。自己の快樂の爲めに人間と人間とが相搏つて攻め鬪ふ有様は、何處から見ても豺狼の戰に異らない。縦令有產階級は少數で大多數の無產階級がこれを征伐するものであつても、人格觀念のない社會運動の鬪員はこれを如何なる穩健の手段によつて目的を達するが。有產階級も命の力でこゝを先途と踏み止まつて必死の勢で對抗する時には、そこに如何なる現象を惹起するかは直ちに想像されることである。刑罰は苛酷となり慘忍となり、道德上の常識を失するに至ること明かである。又一方では何うせ僅かな人員の有產階級であるから、人類の幸福のためにこれを血祭に供せと叫ぶに至ることも憎惡の念の然らしめるところである。隨つて斯様な不道德な爭鬪に關與することを好まぬ無產階級中の知識階級も、筋肉勞働者の邪魔となり、憎惡の對象となる事項もあるので、赤化運動の反對者として慘酷な取扱を受けることは最も明かである。

斯様に考へて來れば、人格觀念のない社會運動によつて煽動される階級的利己心の爭鬪なるものは、實に不德甚だしいものである。縦令人類の大多數を占める無產的筋肉勞働者の利益を擁護する爲めであるから正義であるとしても、人類の一部を爲して居る有產階級や知識階級を血祭としてまで敢行しようとするは不義である。これは暴に當るに暴を以てするものである。他人の罪を責むるに急な爲めに、自己し罪を棚に上げて問はないものである。これは正しい道德的判斷を失して惡意に陷つたものである。これを以て正義の戰であると稱しても、不義を匡すに尙ほ不義を以てするは正義にあらざるものである。人類の大多數を占めて居る無產的筋肉勞働者の自由を擁護することが、公正の行爲であつて博愛の精神に出づるとしても、有產階級や知識階級の人間を迫害することは、公正の德に失して博愛の精神に戾つて居る。人道の建設の爲めに一部の人間を犠牲に供することは正義に似て、實は却つて不義に屬するものである。掠奪階級が被掠奪階級に對して利己的な非道の行爲を行つて居ることが既に正義に反して居るとすれば、これを奪還する爲めに掠奪階級なるものを迫害することも同じく利己的な非道の行爲である。

人生の理想は爭鬪ではなくて平和である、迫害では無くて慈愛である。自己の人格を實現する爲めに他人の人格を手段とすることは不仁の甚だしい行爲である。これは人格の實現では無くし反つてその破壞である。人格は何人に於ても機會均等なものである。貧富の懸隔はこの人格の實現に對して非常な害毒を及ぼして居るとしても、互に爭鬪して迫害の合戰によつて慘酷な手段で目的を達しようとすることは、人格の何たるを辯へぬ蒙昧野蠻の行爲である。人格の實現は利己的欲望の達成によつて到來するものではない。利己と利他とを調和し、個人と社會とを渾一して、人生に於ける至善の目的からして人間の本務を躬行することによつて生ずるのである。無產階級とか有產階級とか知識階級とか筋肉勞働者とか云つて、互に別け隔てして爭鬪の中に主我的な生活を壟斷することは、非人格的な態度である。今日までこの社會運動はこの道德の最も憎むところの利己的な弱肉强食を以て煽動さ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

1―842

れて來たことは非常な過失であつた。これは從來の社會運動が唯物史觀によつて培養されて、道德思想に乏しく人格觀念の無かつた結果である。たま〱人格を言ひ正義を唱ひ自由を叫ぶ場合には、これを人生の目的から演繹したものでは無く、最高善の標準に照して判斷したものでも無く、本務の體驗から生み出したものでも無く、啻に當面の敵を仆す爲めに自己に便益を與へる飛道具に外ならなかつた。從つて口に正義を云ひ自由を叫ぶ人格者が、一朝革命の際には野蠻積惡の行爲を敢て行つて恥ぢないのである。これは現代の階級爭鬪が目的論的唯心論の立場より見て今や人格的價値が無く、正義人道に反する行爲になつた爲めに、從來眞理であるとして奉じて來た唯物史觀的原理が自然科學的價値の資格を失つた狀態である。そしてこの利己的な階級爭鬪は今後形を更めて自他を統一和協した人格的連帶の行爲に向つて推移しなければならぬ運命を豫想させるものである。然るに今尚ほ唯物論の上から利己的な階級的爭鬪を煽動して、頑迷に革命を謳歌して居る空想者流は眞に時代遲れな不義悖德の蠻人に陷ることも明かな運命に卜されて居るのである。

三　謂ゆる解放の誤解を去れ

社會運動に於て階級的利己心を煽動して爭鬪關係を馴致し、それに由つて革命を成就しようと試みるのは、被掠奪階級として掠奪階級からその奴隸的地位を解放することであると稱せられて居る。そして一切の文化はこの解放によつて生ずるものと見做されて居る。人類の道德も人格も良心もこの無產階級の解放より招來するものと考へられて居る。現在の社會狀態では人格を修養することも、道德を發達させることも、健全な良心を維持することも、至善の天地を實現することも、博愛の世界を出現することも一切不可能であつて、恰も八方塞りの暗室に幽閉されたやうで、唯だ無產階級の解放を行ふに非ざれば何事も出來る形でないと考へるのである。現在の社會は行き詰つて居るので、化石のやうな舊文化の骸骨によつて出來上つた融通のきかぬ世界に這入り込んで動けぬ有樣であるから、これを一たん解體して造り替へなければ文化の進步といふものは見られなくなつたと想像するのである。それで社會運動の骨子はこの行き詰つた資本制度を破壞して、全勞働者を解放することに蹤存すると主張するのである。社會運動ではこれを無產階級の自覺と稱し、勞働者の自主的解放と叫んで、そこに人格的意義を有するものとして解釋するのである。

併し乍ら斯樣な意味の解放は依然として唯物史觀に基いたもので、人格的唯心論の特色たる理想や目的には反戾するものである。解放論者は人格の修養や道德の發達は唯物論的な社會制度の反影であると見るのであるが、これが抑の誤解である。至善や博愛は人生の光源であつて客觀的な社會制度によつて左右されるものでは無く、人格の主觀に於ける自由的當爲によつて決定されるものである。社會制度の必然が人格の自由によつて決定される反影であると見るならば眞理であるが、光明の本體に屬する人格の自由が社會制度の必然によつて規定される反影であると見るのは非常な錯誤である。勞

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

働者に人格の自由が無ければ如何に解放しようとしても、それが解放の自主的運動にはならない。無論その社會運動なるものに道徳的意義を見出すことが出來ない。單に物理的に勞働者を解放するに過ぎないので、人格的にこれを解放する倫理運動では無い。

これに由つて觀れば解放なるものは決して客觀的な自然現象では無くて、主觀的な人格的現象である。勞働者自身が自己を解放するのも、資本家が勞働者を解放して遣るのも共に同一の人格的現象であつて、人間の道徳的意識の判斷した最高善を目的として欲求する結果である。それて解放なるものは實に道徳的のものである。人生の理想に基いて正義公正の人格的本務によつて遂行されるものである。この意味に於て勞働者の解放は人類に於ける眞個の道徳的生活の爲めに、人道それ自身の要求するものである。人間の人間たる所以の資格をして自主獨立の存在者たらしめる爲めに、何者の手段となることも許さず、何者の奴隷となることも認めぬ人格價値の擁護を全うせんが爲めである。それ故、無産階級の解放は社會協同の善を建設する爲めに、極めて穩健な正善の手段によつて實行されなければならぬものである。

然るに現代の社會運動に伴ふ解放の意義なるものは、甚だ不合理なものである。階級爭鬪により革命の手段に訴へて斷行しようと欲するのである。勞働者や資本家の人格的要求からして、人生の最高善に對する本務の遂行として行ふものでは無い。自己の階級的利益から打算して、自巳を解放することが自己に幸福を齎らすからである。資本家階級や知識階級を迫害しても筋肉勞働者の利益を擁護することが、自己の生存に好都合を與へるからである。自己の人格を奴隷として居る掠奪階級から、彼我の人格を協同に救濟する爲めに道徳的自覺の上から自己を解放することでは無くて、自己を奴隷とする掠奪階級に向つて先づ戰鬪を開始して、之を徹底的に迫害することによつて自己の利益を奪還しようとするのである。だから現代の解放運動には道徳上から見て頗る不健全な思想が介在して居る。縱令自己を解放することが倫理的に人格活動の目的論的要求であるとしても、その目的を成就するために階級爭鬪によつて血戰して解放を遂ることは不仁である。自己の人格を手段とする者の手から自己を解放するために、その者の人格を手段として蹂躙することは不義である。これでは勞働者が自己の奴隷を解放する爲めに、更に資本家を奴隷とするの結果を招致するものである。これは人格の解放あるものを利己的に考へた過ちであつて、普遍的に考へたものでは無い。從つて斯樣な意味の解放なるものは道徳的には何等の價値もないものになる。

現代の解放運動に道徳的意義が薄弱であつて、多くの悖徳非件を伴ふものは、全く從來の社會運動が幼稚であつて、人格觀念が發達しない結果であつた。解放運動に携はる團員が猥に階級的利己心の滿足の爲めにこれを欲求するに至つたまでのことで、深く道徳的意義の內面的要求に胚胎した運動でなかつたからである。況してこれを道義的に要求する人格的修練なるものは解放の結果から招來すると考へた爲めに、不義不仁のまゝて無暗に解放を絶叫して讃美したゝめに、ます

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

6－844

〱人格的内容が貧弱になつて頗る有害なものに化したのである。殊に無産階級の解放を斷行した社會に就いて見れば、唯物論的に社會制度を變革したのは善いとしても、人格的觀念の幼稚なためにそこに幾多の混亂と紛糾を生じて、不道德的現象を呈出したのである。そしてこの不道德の罪を拂拭するために更に人格の修養に向つて努力しなければならぬ矛盾の世界又は懺悔の世界に陷つて居るのである。それは至善を行はんが爲めに至惡を行つて、更にこれを匡正して至善に復歸せんとするものである。これは策士の權道に於てならば勝手であるが、苟も人格の世界に於ては理想に反する行爲である。人格の解放は至善を目的として進むことである。それが爲めには至惡を手段とすべきものでは無い。正義、公正、博愛、自由を以て進むべきものである。そしてこれを決して利己的に考ふべきものでは無い。人格的に考ふべきものである。殊に社會運動は人道の要求からして勞働者の人格的解放と正義を認め公正と解するのであるから、これは人類一般の道德的生活の爲めに樞要なものであつて、勞働者の階級的利己心を滿足させるのが目的であると合點すべき筋のものでは無い。勞働者の爲めにも資本家の爲めにも、無産階級の解放が人格的に正義の命ずるところであり、公正の容れるところだからである。社會運動に於ける解放の意義は斯様な人格的説明によつて始めて納得されるものなのである。これに反して現代の謂ゆる解放の意味ならば、吾々は飽くまで之れを道德上より排斥しなければならぬ性質のものである。

四　道德的團結を促進せよ

社會運動の方法を階級爭鬪の利己心に訴へること無しに、又た此誤れる解放を好んでその本義を沒却すること無しに、一氣呵成のユートピアを等の唯物史觀的な革命思想によつて夢想すること無しに、人格的な目的論的唯心論によつて可能される唯物論的な客觀的社會制度を實現するには、如何なる原則に憑據すべきであるか。今この意味に於ける社會運動を以て人間の人格活動に由來するものとして、道德の世界からこれを見れば、全人類に於ける人格的觀念の發達に俟たなければならない。無産階級も有産階級も、筋肉勞働者も知識階級も、單に物質的な經濟制度をのみ本位として生活せずに、これを人生の目的によつて可能し、至善によつて評價して最善の本務を實現することによつて生活するやうに改造しなければならない。即ち人間の人間たる資格を發揮して人格の可能性を實現する爲めに、最善の經濟制度を設置しなければならない。それには現在の人類はもつと道德的に發達しなければならない。經濟的生活に關してはこれを人格實現の一方法とし考へて、人類は何人もこれを機會均等にその慶福を頒たれて居ることに對して、極めて眞面目な態度で考へるやうにならなければならない。自己の利益のために他人を手段とするが如き行爲は、極惡非道の行爲として全くその跡を絶つやうにならなければならない。何人も人生の目的を明にして至善の想理を體驗して、自己の本務に極めて忠實な人間にならなければならない。正義、公正、博愛、自由、均等を首とし

て一切の個人道德、社會道德、男女道德、國際道德に對して人道的な人間にならなければならない。平和にして鬪を好まず、謙遜にして禮義に厚く、正直にして親切に富み、勤勉にして質素なる人格者にならなければならない。斯様な人格者によつて社會が滿たされゝば、第一にその社會には階級的利己心といふものが無くなつて了ふのである。誰も私利私慾の爲めに經濟機關を獨占しようとする馬鹿者は無くなつて了ふので、無産階級は自ら解放されてユートピアは自然の間に建設されるのである。これは道德が實在として肯定され、人格の世界が事實として吾々の意識の中に存在して、品性の陶冶が萬人に通じて普遍妥當的に可能であることが立證されて居る限りは、大なる眞理として信奉しなければならぬものである。

さて斯様に道德の發達は遂に社會問題を解決する唯一の鍵であるとすれば、それは甚だ遼遠の未來に於て始めて實現される事柄であつて、現代のやうに爭鬪的利己心によつて弱肉强食の修羅場を呈して居るやうな狀態では、今假に成就される問題でないやうにも思はれる。縱令多少の犧牲を拂つても一氣呵成に革命の御威勢によつて斷行するよりも、非常に迂遠な方法であると思ふかも知れない。さう云ふ生溫い方法を信頼して居た日には、吾々の時代に於て果して生き甲斐のある樂しい社會制度が到來するか何うかは疑問に感ずるのである。けれども、これを出來るだけ早く實現して人間全體の慶福を求めたい人格的要求からして、そこに自ら何人も信頼させるに足る道德的方法が提案されて居るのである。それは人類の道德的團結に訴へることである。即ち人類に於ける協同の倫理を實現することである。この地球上に於ける人類の生活をして暖かい生甲斐のある懷しいものと爲し、人生の目的を達成するに最も都合のよい讃稱すべき狀態に作り替へる爲めに、協同の善を實踐躬行して面目一新せる道德世界を出現することである。

その動機は單に己れ一人を淨くするためでは無くて、全人類に共存する人格の可能性を發揮して人間たる本分を果さんが爲めで無ければならない。單に利己とか利他とかを云ふもので無しに、又た個人とか社會とを云ふものでも無しに、人間全體の人生的目的のために協同の最高善に向つて一致團結して、その完全なる狀態に向つて邁進することである。人類がこの協同の至高善に向つて和協團結してその生を送ることが出來れば、そこには個人的惡といふものは根絶されるのである。今日までの道德は個人又は部落が銘々に行つて山中獨善の形を爲して居た。己れ一人が君子であれば、人は小人であつても問はなかつた。自己の部語が善美であれば、他の部落は穢惡でも構はなかつた。併し乍ら今後の道德はそれではいけない。人類が協同してこれを連帶責任で行はなければならない。その團結の裡に至高善を躬行しなければならない。個人又は部落の道德をして人類的に合同した一大道德に換質しなければならない。人類は道德同盟によつて不道德な者を改善して行かなければならない。個人又は部落で行つて居る道德では勢力を得ることは容易でないが、世界的に團結した道德には一大勢力を有するのである。今後の人類は唯だこの

一箇の世界的大勢力を有する人間の大道德を振作しなければならない。そして人類を一大人格者とする道德生活の團員とならなければならない。

それには現代の吾々は德育の方法を新にしなければならない。人格の修養法を改良しなければならない。先づ吾は小さい道德的組合を澤山作つてそれを世界的に連合させなければならない。色々な道德修養の自治協會を無數に作つて、團體と團體とを連結させなければならい。その中には勞働者の組合もあらうし、資本家の組合もあらう。併しそれは階級的な利己主義の自衛團體の不德なる性質を改めて、人類協同の至高善を實現する爲めの四海同胞的な自治的協會に換質されたものでなければならない。現代の社會運動は元と唯物史觀的なものであつても、人格的な目的論的唯心論によつて人生の最高善から可能されるために、それは倫理運動に換質されるのであるからして、道德的組合の自治的德育によつてのみ完成されるものになるのである。目下の社會運動はこの倫理運動になりつゝあるのであるから、道德組合の團員はこれを擁護して人類の一大人格の協同的實現に向つて各自の德育に精勵しなければならない。決してこれを利己的な階級的な非人格的行動に墮落させないように補佐しなければならない。是れ實に現代人の唯一使命である。

娼妓の同盟廢業

先月三十日に洲崎の萩原樓の娼妓が十一名結束して廢業を洲崎署に屆け出てた事が新聞に出て居た。從來一名や二名のものが自由廢業をするのは珍らしくなかつたが、斯く十二名團結して同盟廢業すると云ふ事は始めての事なので警察側でも一寸面食つた樣子であつた。廢業の理由は主人の虐待、壓迫に堪へられないからだと云ふのであつた。今後も恐らくかうした團結した自由廢業が續出するであらう。その度ごとに警察や樓主が面喰うてあらう。しかしこれは面喰ふ方が間違つて居る。今假りに犯罪人同志が相談してこれから惡事を止めようさうする事が正しいと相談をきめたとしたら、裁判官諸君はそれは怪しからん。犯罪人がなくなると我々は職を失はねばならぬ何とか當分從來のまゝで居てもらひたい。私等の方でもなるべく刑量を輕くする樣に取計ふからと云ふうたらどんな感じがするだらう。洲崎の警察署でも事によれば主人を呼んで娼妓の待遇を改善せよとても云うて同盟廢業を壓迫したかも知れない。もしさうであつたら恰も前に云うた裁判官の弊へそのまゝになりはしないか。東京は餘りさうでもないが、地方へ行くと警察がやゝもすると樓主側に加擔して自由廢業を沮止せんとする傾向があるが、その理由は前借金の問題である。しかし廢業を營ませる爲めに出した前借金は法律上何の價値もないもので賭博の借金同樣返しても返さなくも差支のないものである。然るに情夫がそゝのかしたから前借金詐僞だとか云うて無理に引留める所がある。勿論情夫と共謀したのでは法律上一寸困るが、自分自身の心から廢業せんとするものに對しては何人もそれを沮止する權利がないのである。もし警察が故意に廢業を許可せぬならばそれは純然たる職權濫用である。増して樓主と共謀して暴力を以つて娼婦の自由廢業を沮止せんとする樣な事あらば、そは正に狂人の群と同一視してよいのである。私は地方に於いてこの種の事件のあるのを時々聞く故に序でに書き添へるのである。

村上生

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

廢娼運動の徹底的態度

布施辰治

私も無産者の一人として、現に無産者の生活苦を共にすると同時に、其の職業苦を分ちつゝあるものであります。而して此の悲慘な職業苦に泣く無産者の中には、肉體的にも精神的にも最も大切にしなければならない、眞に尊ばねばならない節操と云ふものを賣つて、人間蔑視の最大侮蔑を受けつゝある、所謂賣操奴隷と云ふものがあるのであります、私は、無産者の一人と致しまして、彼女等の生活苦を想像する時に、何とも言ひ様の無い一種の熱情に戰慄せしめらるゝのであります。私も無産者の一人として、所謂賣操奴隷と云ふものに對しては、常に滿腔の同情を惜まないものである。此の意味に於て、常に自由廢業と云ふことに微力を致して居るものである立場上、廓清會の催しかうした運動に今後共微力ながら力を致すことに吝かなものでないと云ふ事を表明して置きたいと思ひまして、此處に出席した次第であります。

十二社の地に所謂賣操奴隷の特殊地域が設けらるると云ふ事は、其れ自體甚だ悲むべきことでありまして、夫れに反對さるゝと云ふことは、夫れ自體正義の叫びであり、正義の聲として甚だ賞すべく嘉すべき事でありますから、そうした正義の叫びは必ず通らねばならないものであります。けれども、さうした叫びが正義の叫びであるからと云うて、總てが總て通るとは限らないのであります。常に其の正義の叫は、國家が民衆の叫の結晶であり、正義の味方であると致しますならば、必ず通るのでありますが、如何にせん今日の國家は、所謂不正不義なる特權階級者に弄ばるゝ政治の實際問題として、正義の叫びを通さない場合が多々あるのであります。私は卒直に言ふが、此度の反對運動に致しました所で、通るか通らないか甚だ疑問とせざるを得ないと同時に、此處に私の出席することが、何程の價値ありやと云ふ事に、今更らながらゾットせざるを得ない。萬一の不成功に備ふ覺悟が大切だと云ふ事を一言する次第であります。

次に申上げますのは、斯様な會場に於ては、どうかと思ひますけれども、どうせ申上げる心組で參りましたのですから申上げますが、救世軍の方々が熱心に永らくの間、廢娼運動を續けられて居ることとであります。私は、救世軍の方々の熱心に廢娼運動をされて居ると云ふ其の熱心さと、其の眞摯さとに對しては、眞に敬虔な心を以て之を迎へるものであります。けれども、此の様に熱心に有力な方々が、廢娼運動をして居らるゝにも拘らず、其後所謂公娼私娼なるものが、漸次減數を示して居るかと云ふに、遺憾ながら然りと答ふる事が出來ないのであります、部分の增減があつても、全體にあつ

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

ては益々増加しつゝあると云ふ事は、どうする事も出來ない甚だ殘念な實際であります。

私は、此處に考へさせらるゝあるものがあるのであります、卽ち正義の運動を爲すものは、其の運動の正義の叫びなる事に運動夫れ自體の滿足があるかも知れません、廢娼運動にした處で、其の正義の運動なる事を信じて、勇敢に絕叫して行く處に良心の滿足を禁じ得ない勇躍があるかも知れません、けれども、私は、自己の爲の自慰的正義の運動に、眞の滿足を有つ事が出來ない、所謂義人たり善人たる丈けの運動には、どうしても滿足が出來ない、私は飽迄も善事を爲したい、正義を實現したいのであります。此の意味に於て、私は常に運動の結果に責任を有つべきもので無ければ爲らないと思うて居るのであります。之を善政政治と責任政治とに比較を取りて見ると、甚だ對照の宜しきを得たものがありはしないかと思ひます。善政政治が、如何に善政なりとして之を行うた處で、其の結果が善政で無くて寧ろ害がある場合にも、誠心誠意を以て善政を施かんとしたる當局者は、善意の善人たる事が許さるゝのであつて、彼等に政治上の責任が無いのであります。けれども、所謂責任政治の上に於ては、左樣した所謂善政當局は不明の惡人であります。さうした比喩を以て觀た廢娼運動は、果してどんなものでせうか。廢娼運動益々盛んにして現在公娼私娼が增加しつゝあると云ふことから見ましたら、モット根本的に考へる必要がありはしまいか？私は、其の依て來る原因の除去と云ふことに目を睫る必要がありはせぬかと云ふ事を考へるものであります、唯今も承りますと、十二社の地を特定地とするところの請願書には、町會議員が全部調印して居るとの事でありますが、之を不都合なりとするの批評は、普通の誰人でも爲し得る批評なのであります。けれども、私共がモー一歩を進めて、考へますと、町會其のものが左樣した事を爲す爲に便宜に出來て居るものではないかと思ふのであります。今の村會町會は、村民町民代表の名を許されて居るけれども、實際村民や町民の意思を代表する村會町會と云ふ事には爲つて居らないのであります。彼等は制限選擧の下に選擧せられた村會町會なのでありまして、村民町民大多數の意思に、何等干與する所がないのであります。彼等は隨時隨處に彼等の爲にのみ行動して居るのであります。此の度の淀橋町會の態度の如きは、當さに彼等の常套的態度なのでありまして、彼等は以前に於ても斯樣な惡辣をして居るかも知れない。或は此度の彼等の企圖が、幸ひ喰止めらるゝとしても、此れに類似した企圖がどこかで計畫せらるゝものと思はなければ爲らない。依つて迂遠なるが如きも、此の反對運動に於て、先づ第一に彼等町會と云ふもの不合理なる町會と云ふ制度を根本より彈劾せざるを得ないのであります。更らにモー一ッ糺彈しなければならないと思ひますのは 斯樣な特定地設置の請願運動の如き運動の費用は、常に其の特定地たらんとする土地の附近に住んで居る家主地主が出して居ると云ふことであります、其の特定地及其附近に家を持つ人は特定地だからと云つて他の土地よりも二倍も三倍も高い家賃で借すことが出來るからと云つて、其の運動費を出すと云ふ、又地主にした所で、祖父より父へ、父より

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

子へと云ふ様に、唯だ世襲的に傳つて、現在登記簿上の持ち主に爲つて居ると云ふのみて、其の土地に何等の勞働も加工もした事の無い彼等は、其の土地が特定地となつたことに依り、高く他に賣り付けることが出來る、又は高く貸す事が出來ると云ふ利益の考より外には何にも考へて居らないのであります。而して此の利益と云ふことに目が眩んて、そうした運動費を出すことになるのであります、之れ又、樂をして金を儲ける今日の營利と云ふことを許して居る制度内に於ける人間の弱點なのてありますから、こゝにも根本問題が潜んて居ると考へざるを得ない次第であります。此の十二社の地を特定地とすることに依つて、此處に人口の集中を計り、町の財政を救ふと云ふのてありますが、有るものさへにも出す事を惜しまないならば、事實町の財政はそう窮乏して居るとは思はれない。唯附近に住んて居る家主地主の利益の爲に起されたものに過ぎないと思ふのてあるが、假りにさう皮肉らないて、文字通りに町の財政を救ふものと見た處て、此の犠牲に供せらるゝのは、貧しき無産者の子女てあります、貧者が自分の子女を貞操奴隷とする、既にそこに現制度の根本的缺陷があります、子女も亦、貞操奴隷となるには、精神上の脅迫があります、此の制度上、精神上の缺陷は、共に根本制度の不合理より來るものてありまして、名義はどうあらうとも、事實上の强力者が貧者の子女を一部の人々の利益の爲に犠牲にせんとする憎むべき行爲てあります。故に、私は此處に於ても現制度の根本的な改造を望む次第であります。以上述べて來た事は、或は十二社の地が特定地たらんとすることに對する反對演説としては、あまりに理想に捉はれた迂遠なるものとする人があるかも知れませんが、私は常に部分々々の問題に反對の氣聲を揚げ、其の成功不成功と云ふことに捉はれて、動もすれば根本の問題が忘れ勝ちてあると云ふことを憂へて居るものてあります。成る程、悪い木が生ひ茂つて居る場合に、之を無くしたいと云つて、其の枝を力任せて捨ることは、一寸如何にも勇敢なことてあるかも知れない、けれども、根と云ふものがある限り、何の役に立つものではない、私は常に其の木の本に斧を置く、或は其の根本に藥を塗ると云ふことのないのを慨くものてあります、敢て私が此の言を爲すのは、部分々々の問題に就ての成功不成功に捉はれて、根本を忘れてはならない、假令此度の反對が破れたものにせよ、破れたなら破れた理由を諸君町民の間に明瞭に諒解せしめて、今日の政治運用が、果して正義をモットーとして居る正義の聲に耳も掩ふものてあるかを明かにし、成功不成功の勝敗共に意義ある運動たらしめたいと考へます。

實際私は、其の意味に於ても又、自由廢業をさして手足纏ひに爲るものよりも、直ちに反抗婦人として有力なる味方たる者を助けて、根本改造に役立つ事を望んて居るのでありま す、以上私はあまり今晩の演説會に相應はしくない演説をした事を恐縮に存じますが、私は今晩玆に出席した所感と卑見の一端とを率直に申述べて、諸君の御參考に供する次第てあります。

（於柏木有隣園）

世界の植民政策と朝鮮問題

永井柳太郎

□形に拘泥して精神に徹底せざる朝鮮統治

嘗て朝鮮總督府に於て、彼のチエッコ過激派と在滿朝鮮人が國境に擾亂を起す危險あることを惧れて、軍隊を以て之が防備をなし、尙ほ朝鮮國内の要所々々に二千の巡査を配置して警戒を嚴にしたのである。抑總督府の鮮人に對する政治が形にのみ拘泥して精神的に徹底せぬのである。然し乍ら設令百萬の兵を以て國境を守るとも、若し朝鮮人の生活の安定を圖らず、又その人格を無視するならば、其の恐るべき過激派は國外に起らずして、寧ろ國内より起るのである。之に反して朝鮮人の生活の安定に努力し、且つその人格を尊重し眞に朝鮮政治の改革を圖るならば、假令一兵を止めざるも何等恐るべきものなく、泰然自若たるべき筈である。總督府がその心を思はず形に捕はるゝ所に失敗がある。

植民大家アイン・アイルランドの「植民政策」なる著書中に下の如き一節がある。英領西印度の總督が或る日の夕方、官邸に歸る道すがら土人の馬鈴薯畑を踏み荒したので、その持主たる土人は、汝は何者ぞと誰何した。其の時總督は傲慢なる態度を以て、余は本島の總督なるぞと申した。土人は怒つて云ふのに、假令總督を六倍にした偉い人物でも、余の馬鈴薯畑の所有權には何等の權威はない。此亂暴なる行爲に對しては飽く迄も責めなければならぬと叱咤し、仲間を呼び集めて彼れを捕へ裁判所に起訴したのである。然るに裁判官は英人であるけれども公平の人物なるが故に、受理の上冷靜に審理吟味を遂げて、總督に對し損害賠償の義務あることを宣告した。總督は憤慨して職を辭した云々。

猶ほ此話の終りに此土人を始め多くの土人が英國の政治に歸服した事實を擧げ、最後に斷案を下して「英國は一總督を失へたるも英國領印度の心情を得たり」と申したのである。齋藤朝鮮總督に對しても同樣であるから、總督たる者此點に關し大いに留意せなければならぬ。

□從來世界に於ける植民政策の沿革と其の利害

世界の植民政策は大體四つの變遷を經て居る。第一期はコロンブスが米國を發見したときより十七世紀迄であつて、君主及貴族の財政上の慾望を充たす時機である。十一世紀末より歐洲に於て十字軍其の他の騷亂が勃興し、各國君主は國庫の窮乏を告げたので、其の金庫に金銀を充たすことが植民地に對する主要の目的であり、政策である。それ故に十六七世紀の植民地に對しては、殊に貴族の慾望を滿たすべく、どし〳〵金銀の採掘を命じたことは歷史上顯著なる事實である。そして其の結果本國の御用商人が植民地へ渡航し、生活上の必需品を專賣的に持ち込み、之を高く賣り付けたので、植民地の者は忍んで其の高價のものを買うたのである。そして其の代價として貴金屬を提供したのである。然し乍ら本國の橫

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

暴壓制が益々甚しきために、植民地の者は獨立せざれば眞に生存すること能はざる窮境に陷つた。殊に生活必需品を自由に完全に得ること能はず、壓制的に不當なる高價品を押し付けられたために、座して死するよりは乾坤一擲生を求むるに若かずとの思想信念が、亞米利加獨立となつて顯はれたのである。卽ち誤れる政策に反動せしに外ならぬのである。

恰も佛のルーソーの如き哲人起りて、人は生れ乍らにして自由である。此自由を束縛し人格を傷くる所の政治を打ら破れとの叫びを擧げた。長い間生死の間に置かれたる當時の人民は此一哲人の代表的點火に依つて、一層自由に生きんとの心が燃えて彼の大革命が起つたのである。實に此大革命は專制政事家の冷刻なる束縛が其の人民の心の内に痛切深刻に感じた一反映である。次に自由貿易時代となつた。アダム・スミスの如き經濟學者は專制の爲めに起れる革命の教派に由つて、自由に貿易する方が世界各國民の繁榮向上を來すとの結論に達した。グラットストンの如きも、加奈多、濠洲等に對し此自由貿易を主張したのである。又ツルゴーの如きは「植民地は果實の如きものであるから、成熟して其の枝より落つることは當然である」と申したのである。解放せられて希望を抱くのは當然のことである。次に十九世紀の初めに感情より理智を尊ぶ科學が勃興し、機械工業が盛んになり、資本主義が其の勢力を逞ふして、工業製品の販路を出來るだけ擴げる所の植民地に於ける資本的帝國の激烈なる競爭となり、終に歐洲大戰となつたのである。そして大戰に勝ちたるも敗れたるも破產の狀態である。此植民思想に基づく資本的帝國主義は自己をも、人をも滅ぼすものであるといふことが明かになつた。

□英國の工業衰退と獨逸の生産及發明の勃興

第四期に於ては英國は資本的帝國主義に依り勝利を占めた結果、獨逸其の他の諸國に金を貸す所の債權國となつたのである。獨逸のシュルク・ゲーベルニッツは「金持の權階級は人間として與へられた能力權利を得ぬものである」と申したのであるが、實際利子の生活又は利子の植民は國民の怠惰と墮落を生むのである。從來英國人口の二割五分は主要なる製造工業に從事したのであるが、次第に金を貸して生活する者が續出した爲めに、今日の主要製造業は激減して一割五分となつたのである。そして凡有研究發明等は獨逸に凌駕せられて、大戰の如きものがなくとも經濟的に米獨にかなはぬ有樣となつたのである。又近頃獨逸にリーコンストラクションと申す雜誌がある、此一つの雜誌を五ケ國の言葉に飜譯して發刊するのである。そして此雜誌を發行する獨逸人が申すのに「獨逸人は獨逸語を知らざる人々にも思想を陳述し、信念を宣傳するのである。世界に於て最も有望なる國は獨逸である。彼の聯合國は金貸してあるから、其の利己的の打算上決して獨逸を破產せしめぬ。此事は斷じて憂慮するに及ばぬから、出來るだけ生產し、出來るだけ研究力も發明力も世界に冠たるに至らしめよ。實に獨逸は世界一の生產國であり、獨逸人は世界一の研究者發明者である。獨逸人よ失望する勿れ世界人よ輕蔑する勿れ」と

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

世界各國の識者が明日の英國を信ずること能はざるに至れるは、英國が資本にのみ重きを置きたる因果應報てある。總て目醒めたる者は資本より勞働に活きんとしつゝある。今日の時代は本國の意思を以て妄りに報納金を納めしむることを許さぬ。又各民族の人格を無視することを許さぬのてある。博物學者のヘッケル曰く「森林の葉は一見皆同一なるが如きも、仔細に點檢すれば個々皆其の大小形狀を異にしてゐる」。と人も其の如くに獨特の個性を有してゐる。之を無視することは不當てあり罪惡てある。植民地も獨特の個性を完成する環境を作り、制度を完備するならば、天職爰に盡きたるものてある。然るに一方に於ては羅馬は古昔世界の統一を夢み、今尙ほ夢みつゝある。思うて玆に至れば、人類の進化は存外に遲々たるものてあることを感ぜざるを得ぬのてある。夫れ自然の種々なる色彩及音樂の調律の高低强弱を考ふるも、そこにヴアライテイあり、ユニテイあるので、眞の調和の妙味がある。之と同じく凡有民族を自由に解放し、之を向上せしむる所に世界文明上進の妙味と原動力があるのてある。政府又は資本家の如き特權階級が、若し此民族の發展を妨げ自由を束縛するが如きことあらば、是れ實に天人共に許さざる所の罪人てある。

□英人の僞善的植民政策と印度人に對する横暴

朝鮮民族の個性發展は形に於て顯はるべきてある。第一、敎育の方針を考へ、第二、自治權附與の可否又は程度に就て考究すべきてある。我國に於ては植民地に敎育するの可否を考ふるは愚か、自分の國內の婦人に敎育を施すの可否を考へつゝあるのてある。婦人を敎育するならば反抗して不可いと思ふのが、今の敎育家の考てある。然し乍ら若し男子に立派な敎養あり、人格があるならば、婦人の敎育誠に善いてはないか。之と同じく朝鮮敎育も必要なるは申す迄もない。英國は印度に敎育し過ぎたるが爲めに反亂を企つるに至つたと申すのてあるが、是れ決して然らすてある。余を以て言はしむれば、要するに英國の僞善が暴露したためてある。卽ち英國は自由貿易の美名の下に、棉の原產地より其の棉を英本國の綿糸綿布の紡織其の他の加工地たるランキャシャー、ヨーキシャーの意思を忖度して悉皆同地方に輸送せしめ、その原產地には毫も綿糸綿布の紡織加工等を許さぬのてある。そして保護關稅を徵收することをなさぬのてある。印度人の憤慨措く能はざるは無理ならぬことてある。

又英國人ケーア・ハーデーが其の著書「インデア」の内に英本國人を戒めたる一節がある。其の大意を申すならば或る日汽車に多くの英人が乘つて居り、其の車室內に唯一人の印度の貴族が乘り合はせて居つたのであるが、或る停車場に着いた時何者かを搜しつゝある樣子である。其處へ印度人なる一人の若者が來つて來て面談を遂げ、直ちに其の汽車に乘つたのてある。處が多くの英人が之を見て立ち上り、此印度の貴族に向ひ、此汽車は白人の汽車てあるから妄りに黑人を乘車せしむることは出來ぬと詰つた。印度の貴族は彼等英人に對して、此若者は我が愛子てあるから許諾して呉れと辨疏哀願した然るに英人の一群は一層聲を荒くして言ふのに、汝一人を乘せることすら非常なる恩典てある。若し强えて此青年を乘せる積りならば二人共出て行けと。そこで此印度貴族は其の若者と共に暗涙を飲み無言の儘出て行つたのてある。然し此印度人の胸に燃えて居る心の焔は今既に英本國の礎を危くしつゝあることを知らればならぬと。要するに英人の僞善なる政策と横暴なる非道的態

度は大いに責むべきのみならず、彼等自身を危窮の地に陷れつゝあるのである。

□大革新を要すべき朝鮮の差別的敎育と政治的諮問機關

抑敎育は大切である。自ら日本の本國に於て之を許すならば朝鮮にも許すべきである。朝鮮には一千六百萬の人口あるに拘はらず、小學校が僅かに六百七十五に過ぎぬ。然るに日本内地には人口五千萬に對し一萬五千六百の小學校があり、朝鮮に比し三十八倍である、そして其の生徒數は朝鮮が十五萬人て、日本内地人が八百萬人てある。又中學校は内地に三百五十あり、約十五萬人の學生を收容して居るのに、朝鮮には高等普通學校が僅かに十七て學生數五千五百人に過ぎぬのてある。若夫れ眞に朝鮮人の人格完成個性發展を圖るにあらざれば、口に一視同仁を唱ふるも何等の價値はない。斯くの如く敎育の差別的待遇をなし、且歷史傳說素養を異にするならば、朝鮮の民族心理を理解することは出來ぬのてある。先日華族の有馬と云ふ人が一日だけ日比谷公園に於て草刈りをなし、之て勞働者の心理狀態を知つたと申したさうてあるが勞働者の最も苦痛とする所は、肉體の勞働にあらずして明日の生活不安の心理狀態てある。華族には此事が判別らぬのてある。又朝鮮には貴族及特權階級のみならず、勞働者に對して統治上に關し權利を與ふべきてある。然るに實際さういふ意味のものはない。中樞院といふのがあるけれども、之は當局者が貴族や高位高官の内より是として認めたるものを任命するに過ぎぬのてある。然るに冷靜に考察を下して、此貴族其の他の特權階級者が、併合以前に於ける李朝時代の來歷を調査するならば、隨分橫暴を極め貪慾を逞ふしたのてあるから、その財產を沒收すべきてある。又その中樞院は總督より或る事項に關し諮問する時、之に答ふるに過ぎぬのてある。その事は官制に明かてある。又府の協議會及面の協議會の議員は、一ヶ年五圓以上の納稅者中より選擧するのてあるがその議員の數は八名乃至十五六名てあり、矢張當局者の諮問に答ふるだけてある。

朝鮮統治は根本的に革新せなければならぬ。然らざれば良醫と雖も之を健全に癒すことは六ヶ敷い。朝鮮總督府に於ては文化政策と申すのてあるが、内鮮人を合し巡査二萬人の多數を使役するとは、如何にも文化政策には不似合てある。又或る朝鮮の子供が朝鮮の昔の旗印を書きたるを咎めて、之を拘引したといふ滑稽な話がある。實に笑ふべきの至りてある。兎に角我が日本は朝鮮の制度組織を根本的に改造して、正義人道の上に立ち、世界の道義の法庭に立つて恥しからざる認可を受くることが必要てある。内地の改革と同時に朝鮮の改革なし、精神的にも物質的にも理想的大施設をなすことは現下の最大急務てある。余は内地及朝鮮の青年諸君に對し余の朝鮮に關する衷情信念を訴ふべく、此講壇に立つた次第てある。（講演大要文責在記者）

人間が虎を殺さんと欲する時、彼は之を遊獵と呼ぶ。虎が人間を殺さんと欲する時、彼は之を獰猛と稱する。犯罪と裁判との間の區別は蓋し之より大なるものではない。

ベルナルド、ショウ

十二社二業設置請願と反對運動

村上雄策

十二社に藝者屋、待合を設置せんとして請願したのは今回にて三回目である。前二回は個人の名儀であつたので直ちに却下されたのであつたが、今回は町會の決議であると云ふので一ヶ月以上請願書が警視廳内に留められて居るのである。我が廓清會がこの亂暴無耻なる事件を知つたのは九月二十九日の夜であつた。有隣園の松田君が島田會長を訪問して應援を希望されたので我々はもとよりかうした醜業制度を全廢せんとして居るのであるから、直ちに反對運動に取り掛つた。そして足下なる淀橋町に於いて反對の第一聲として十月七日柏木有隣園で演説會を催した。その夜は折惡しく暴風雨であつたが、辯士諸君の努力により相應の効果を得た。その間淀橋町にては安井哲子女史、大森あに子夫人その他が主として個人的に反對運動を起されて、反對の調印を集められてそれを警視廳へ差出した。本會としては十月十九日東京青年會と聯合して神田青年會館に於いて大々的に反對演説會を催した。辯士には安井哲子女史、山室軍平氏、布施辰治氏、島田會長を勞はした。その外に四谷の區會議員森松之助氏が四谷區の藝者屋設置問題で苦い經驗を味つて居らるゝのでさうした立場からやはり反對を聲明して下さつた。尚伊藤富士雄氏も藝娼妓の悲慘なる境遇と全廢の急務を、取扱つて居る事實上から話して下さつた。聽集は始めより終りまで我々の正しき主張。痛烈なる聲明に對して絶えず一齊に拍手を以つて辯士の述ぶる處を是認した。我々はこれを以つて足れりとはせぬ。公開的に又は個人的にその請願書の却下さるゝまで戰はんとして居る。我々はこれを單純なる十二社のみの問題とは思うて居らぬ。もしも十二社が不幸にして許可さるゝならば、池袋に、雜司ヶ谷に、澁谷に、目黒に同一の理由によりて請願運動が起るであらうと思ふが故に、今回は全力を捧げてこれを堰き止めんと思ふのである。

それにしても今回の淀橋町會の請願程不可解にして不合理なるものはない。町費が不足なる故に二業地を許可されて醜業婦の上前を以て町を經營して行かうと云ふ悲痛なる會議に傍聽者を嫌うて九月二十七日の夜郡役所の樓上に秘密會　を開いて決定したのである。最も後で正式の會議を開いて則決したと云ふ事であるが、何れにしてもかうした風致上の大問題を易々として議決すると云ふ事は餘りに職權の濫用である。もし我々の一家に於て家族の一員をして醜業を營ませれば一家を維持して行かれぬと云ふ大事件が起つた場合に、一家族にこれを知らせずに決定するであらうか。この問題が外部に知れたる時に早や採決の後でありし事を思ふ時に滿鐵問題や、砂利食問題や東京瓦斯問題を連想して我々は妙な感想に到達したのである。私は淀橋の町會議員諸君が或る人々より何物かを受けたりとは斷言せぬ。けれども第三者には決して單純に町の爲めとのみは傾かれないのである。恐らく何物かを連想せずしてこの不合理なる、矛盾の甚だしき請願を見るものはないであらう。彼の議員諸君が自らの娘を町の爲めに藝者とするならば幾分恕する點もあれど然らずして唯町の爲めにと云ふ表面の理由にて他の目を欺はんとするは餘りに無耻なる企と云はればならぬ。彼等は町民の反對牽制策として色々な方法を絞らすであらう。町民は決してこの詐僞的手段に乘ぜらるゝ事のないように努むべきである。

序でに一言述べたきは淀橋町の婦人方にて名を表面に現はす事は困るが是非却下になる樣反對の運動をしてくれと我々の下に手紙或は直接に申して來られた方がかなり多くありました。これ等の方々には心から藝妓屋の近隣に現はれるのを嫌うて居らるゝのでありますが、唯我々として遺憾に思ふのは何故にこれ等の方々が表面に立つて堂々と町會議員諸君に排戰する事を怖れて居るのであらうか。勿論我々は最後まで戰かはんとして居る。そして東京附近に於いて再びかくの如き陰謀の現はれざる事を欲するものであるが、婦人なる故に内助者なるが故に表面に起つて反對する事を何故恐るゝのであらうか願はくば恐るゝ事なく家庭の爲め子弟の爲めに極力反對されん事をそれ等の婦人に希望するものである。

最後に余は警視廳の當局に向つて一言述べたい。今日は思想上に於いても非常なる變化を來たして居るのに藝者屋待合の如き有產階級の遊戯の爲めに出入する場所を多くすると云ふ事は無產階級の憤怒を招ぐ源因の一つを加へる事である。もし當局にして社會政策的明あらば現在存するものに對してさへ廢棄を强ゆるべき筈である。それに掛らす存在せぬ場所に對して許可する如き事あらば當局は無產階級に對して排戰を宣言せるものであると斷定して差支ないと思ふ。少なくも予はかく信ずるものである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

藝者及待合論

高島米峯

藝者と娼妓

藝妓や待合などの存在するは、丁度體内に病毒があつて外部に腫物が出た樣なものである。藝娼妓はその腫物て、社會的の欠陷なる根本的の治療も必要であらうが今日の前に出た腫物も何とかせねばなるまい。今回はその腫物が十二社に二業として出來掛けんとして居る。この腫物を何う處分したらよいか云はずと知れた直ちに切開して取り去らねばならない。これが唯一の應急手當なのである。先づ醜い腫物を取り去る必要がある。

併し唯理由なく反對はせぬ。一體人間の生活に藝者は必要であるか。抑々藝者とは何者であるか、藝者とは字面によれば人の前に出て藝をするものである。然るに公然と人の前に藝を賣り物にする役者や、講釋師も藝者と云ふべきであるが、どうもさうてならしい。それならその藝がどんなに違ふか普通藝者と云ふのは怪しげなる女て、客の間にありて盃を運搬するものゝ謂である。そして低級なる藝術を客に聞かせるものに對して特に付けた名である。併しその藝術も實は表看板だけて、その實は第二次會に於ける一種不可思議なる藝術をするのが本職らしいのである。

この人前に公然と云ふ事の出ない藝術ならば、何も特別に藝者と名を付ける必要があるまい。所謂筋肉勞働者は吉原に澤山居るが、それと異なるは唯三味線を持つて居る事だけである。併しこの三味線も實は自動車の泥避同樣に警視廳避けに過ぎないらしい。藝妓が娼妓と同樣の事をしてはよくないと云ふ事は二枚鑑札の制があるのを見ても解る筈である。然るに一枚でもつて二枚と同じ事をするは、普通一班の道德から見てもよくない事で、實に不正極まる事である。羊頭を揚げて狗肉を賣るならまだしも、藝を揭げて娼肉を賣るものである。斯の如きものが存在するは實に國民の恥辱である。

私は職に從事して居る彼等を心から憎むものではない。彼等は恐らく自分のして居る事の何んであるかも知らないかも知れぬ。彼等は物心も付かぬ中から淫風に染まる樣に育てられ、さうする事が當然であると信じて居るのだ。故に藝妓そのものが惡いと云ふよりは、かゝる職業をさせる人が惡いのだ。もう一歩進んで云ふならば、彼等を利用する所謂紳士階級が惡いのだ。否それ等の人々の心持が解らないのである。

千の慮一失か

遊蕩者の消費も時勢と共に減つて來るのは世界の大勢に目

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

を着けるもの丶離れしも氣付く事であるが、經濟問題に行きなやんだ淀橋町會は、心にもない誘惑に逢うたのであらう、目の前に學校の新設、下水の工事、その他の新事業費に當惑した結果千慮の一失でこんな決議をしたのであらう。で私は情に於いては止むを得なつたであらうと思へば思はれない事もないが、決して名案とは云はれない。第一町會議員諸君は道德上の問題に付いて忘れて居たのではないであらうか。町費の不足を補ふ爲めに藝者屋、待合を設けて神聖なるべき教育費を始めとして下水、道路の修繕費を得んとは餘り利巧な企ではない。町民の子弟を教育する學校、町民の生命を左右する水道の設置を藝者の上前でやるとは道德的の耻辱である。これは確かに町會議員諸君が一時思ひ違へをしたのであらう。少くとももつと高尚な方法があらうと思ふのである。

時勢の變化

議員諸君は十二社の風紀の爲めに二業を設置すると云ふが二業が出來たら反つて益々惡化するであらう。今に議員諸君が待合で町議を議するに至るであらう。が兎に角今回の企は世の大勢を知らざる仕方である。他に於いては藝妓屋待合の弊を認めて次第に減少せんとして居るのに、淀橋のみは無い處に設けんとするは何たる不見識ぞ。然もその上前によつて子供を教育しようとは何事であるか。藝者の上前によつて教育さるゝ淀橋の子弟は不幸であると云はねばならぬ。

神聖なる財源

淀橋町が教育費、水道設置費等に眞に窮して居るならばこゝに最もよい財源がある。それは町民諸君が酒を減ずる事である。酒は生活に必ずなくてならないものではない。酒がなくても人は成長する。又生活の必要品でない私は未だ盃を手にして生れた子供のある事を聞かない。それ丈け酒は必要がないのだから減酒する位はなんでもない。增してや愛する子弟の爲めに減酒するのだから何でもない筈である。今假に一人が一日に一合の酒を減じたとして金に見積つて二十錢とする淀橋町に人口が五萬として酒を飲む人はその十分の一の五千人は飲むものとして皆が一日一合づゝを減ずるとせば、一日千圓となり、一年に見積つて三十六萬五千圓となる。もし眞に淀橋町民諸君が子弟の爲めに窮して二業を設置せんとならば、二業設置の如き危險なる子弟を毒する方法によらず、最も容易なるこの減酒によつて教育費を捻出することは、醜業婦の上前を刎ねて作るよりも價値あり、又文化的であると思ふ。增して加ふるに煙草の如きも節約してそれを教育費に寄附するならば優に五十萬圓を得る事は何でもないと思ふ。

要するに淀橋町民諸君が金が欲しいと云ふ事のみに目がくれず、もつと自らの子弟の爲めに最善の方法を取らるゝ事を希望するものである。如何にしても教育費が不足ならば何人から聞かれても笑はれざるのみならず他に對して模範となるべき減酒によつて教育費を造らば實に名譽であり美談であると稱讃さるゝであらふ。私は切にこの減酒に依りて費用を捻出さるゝ事を勸むるものである。

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

藝妓論

淀橋二業組合設置反對論

この論文は前々號のものと重復して居る點もあるが非常に有益なものであるから特に乞うて掲載致しますから宜敷御諒承を乞ふ　　編者

山室軍平

緒言

淀橋町會が警視廳に提出したと云ふ二業組合設置の件に關する請願書の寫しを見た、それによると道路の修繕、水道下水工事、學校の新築に金が要る。それには十二社に二業の許可をされて、その上前でこれ等の費用に充當してこの急場を救ひたいと云ふのである。要するに唯金が欲しいと云ふのである、金さへ這入れば後は何うでもよいと云ふのである。しかし世の中は復雜なもので、金ばかりでやつて行けるものでない、然るに淀橋町會は金の外には何物にも目をくれなかつた樣である。唯金が欲しい、手段は何んでもよいと云ふのである。昔の支那の書に面白い話がある。或る時一人の若者が人の群集する市の中で兩替屋の金を盜んで逃げたが、何しろ大勢人の視て居る中であるから直ちに捕へられた。そして何う云ふ譯で人の視て居るのに盜んだと聞えたら、その若者の云ふには「金ばかり見て居たので周圍に人の居るのなどは見なかつた」と云うたさうである。取つてよいか惡いかの分別が付かず、唯金ばかり欲しがるのはこの譬の樣なものである。淀橋町會の理由も丁度これと似て居る。議員諸君は金が欲しいとそれのみに心を引かれて、藝者とは何んな事をするものかよく考へなかつたのではないか。

藝妓とは何ぞや

第一藝妓とは何か試みに日本百科辭典を引いて見ると「藝妓とは杯盤の間を斡旋し、又絃歌舞踏して酒興を助くるを業とする女なり」とあり。我等は百歩を讓つて藝者とはこの定義の通りなりとするも存在の必要を認めない。世界の大勢を見るに各國共に如何にして禁酒せんかと努力して居る時に、酒を呑ませ、その興を添へる爲めに絃歌舞踏するものを必要とするは何事ぞ。これは道德問題からのみてはない、能率の上から見るも、衛生經濟、遺傳、犯罪等の何れから見るもかゝるものゝ存在は棄て置き難いのである。米國に於いては禁酒の後能律に於いて二割五分の增加であると云ふ。然るに日本人は以前の米國人に比してさへ十に對する六乃至八であつたから現在では米人二人の仕事を日本人三人で仕上げる割合てある。これ丈けても酒を飲む事は問題てあるのにこの上多く飲ませる爲めに斡旋したり、絃歌舞踏するものがあつては甚だしい禍いてある。然るに淀橋ではから云ふものをもう一つ新らしく設置したいと云ふのである。各國ではどうかして無くしたいと云ふのに、無い處に新らしく設けやうと云ふのは本氣の沙汰とは受け取れない。

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

私がスヰデンへ行つて見て來たのであるが、あの國では酒を飮むにはなか〱六ヶ敷て、取締りが行き屆いて居る。酒を飮まんとする者は飮酒許可願ひと云ふものをその筋へ出すと、その筋では本人は酒癖がないか、稅金は滯りなく納めて居るか、家庭に於ける行動が何どうか、とこんな事を調べてそれに合格すると始めて酒を飮む事が出來るが、許可さるゝまでには三ヶ月もかゝる。その上その許可書には本人の寫眞入りで最大極度一ヶ月二升より外飮む事が出來ない。婦人は一ヶ月一升よりは飮む事が出來ない。外で晩餐の時に酒を飮まんとしても少さい杯で三バイより外は飮む事が出來ない。もつと飮みたければ別の店へ行つて食事をもう一人前食べなければ三杯飮む事は出來ない。これはストックホルム式と云ふのであるが、以前はゴッテンベルグ式と云ふ方法で酒の稅から得た金で犯罪人、不良者を救濟する社會事業を起したが、それでは面白くないのでストックホルム式を採用したのである。それで次第に飮酒者が減つて行く様になつた。それで英國の様な保守的な國でも現在は午前二時間、午後二時間と一日に四時間しか酒を賣らない様にして飮酒を防いで居る。

各國にてはかくの如くして飮酒を防がんとして居るのに、日本では藝妓を設けて飮酒の奬勵をするは大いなる間違ひである。その意味から云うても藝妓は今日の時代に存在を許さるべきものでない。

第二、藝者は法規上醜業婦にあらざる筈なり。醜業は娼妓のやるべきもので、藝者がやつてはならない筈である。故に娼妓は十八歳以上でなければ許可されないのに、藝者は十二歳以上と云ふ規定になつて居る。だから法規上藝者は醜業婦であつてはならない筈である。試みに內務者發行の國勢一班を見るに、十二歳未滿が五〇二、十二歳以上十八歳未滿二三七一四とある。これ等は當然醜業婦たるべからざる筈である。もし娼妓にして藝妓を兼ねんとするならば二枚鑑札を受けねばならぬ事になつて居る。それは全國に三百人あるが、その外の藝妓は醜業を營んではならない筈である。娼妓にして藝妓たらんとせば娼妓を廢業して滿二ヶ年を經なければ許可されない事になつて居る。これを見ても藝妓と娼妓とは區別されて居る筈であつて又さうでなければならぬのである。試みに警視廳管內で藝妓にして醜業を營みて檢擧さるものを調ぶれば一ヶ月一二人に過ぎぬ。これをそのまゝ信ずれば藝妓は皆品行方正の處女なるかに見ゆるのである。

然も藝妓と聞いて醜業婦なりと思はざるものは案內記によつて文字通りに信用したる外國人位のものであらう、今はそれさへも矯風會から出たホワット、イズゲーシャガールなどによつて大抵は知つて居る様になつた國辱の一種である。

救世軍にて扱ひたる幾十人の藝妓は皆彼等が如何に年少より醜業を強ひられ、引續き醜業を繼續せしめられたるを語らざるものはない。それのみではない先日或る靑年が藝妓に溺れて罪を侵したものに對して裁判所が公文書の上に「被告は醜業婦に溺れて」云々と書いたのを見ても、藝妓則ち醜業婦なりと思はぬものはあるまい。これは公然の事實である。

これは日本の家族制度を亂用したる幼女の奴隷賣買が周刻なる組織のもとに行はれて居るものでそれ等の契約書の中には「同人の將來の職業に就ては甲者（繼

養母）の指命に任せ、假令藝娼妓其他如何なる業務に從事せしめらるるとも乙者（實母）に於いて必ず異議若くは同人連れ戻し方の口實となさざること」などあるを見たる事あり。こんなものは出る處へ出れば公の秩序を害し善良なる風俗に反する事で、法律上何等價値のないものであるが、彼れ等は出る處へ出る事さへも知らずに居るばかりでなく、その費用もなければ又さうせぬ樣に育てられ教へ込まれて居るのである。かうして彼等は賣肉奴隷として醜業を營ませられつゝある。

又一方には年取つた女に對しては前借金の制度がある。年限にもよれど一人の女に高きは三千圓から安いのは百圓、百五十圓と云ふのもあるが、一地多いのは六百圓から千圓止りであるさうである。これは名こそ前借金であるが實は奴隷賣買の身代金則ち奴隷買入金である。かうしたものゝ中には藝の出來ないものさへあると云ふ事である、堂々たる男子にして尚それ丈けの金を借りる事が六ケ敷い場合の多いのに、一個の婦女子が單なる理由でそれ丈けの金が借りられる道理がない。これは云ふまでもなく立派な奴隷賣買代金である。

勞働は商品にあらずとの標語が世界を風靡して居る時に、婦人の肉體を商品として賣買するは何事であるか。これは同時に兒童虐待である。例のお初地藏のはつちやんの事件以來兒童虐待防止運動が盛んになりたる今日、現在日本に於いては十六歳以下の少女が醜業婦たるべく仕立上げられて居る。その數は一萬以上てある。私等が取扱ひたる限りに於ても十四歳位にて所謂（水揚げ）と稱して男の玩弄物になるべく強制されざるものは殆んどないのである。これが組織的に兒童を虐待するものでなくてなんであるか、私が大連に行つた時に大連の育兒院に收容されて居る十三と十一の姉妹を見た二人は收容されざる前には養家にて虐待されて塵溜の中の大根切れを食うたりなどして居たのであつたさうである。私が二人に父親があるかと問うたら死んだと云ふ、ては母親があるかと問うたら四人あるがとれだかと答へた。これは家族制度を惡用して兒童を虐待するものでなくて何んであるか。娼妓は十八歳でなくてはなれないのに、藝妓は十二歳以上で許される。日本では藝妓の數が六七三七二の内十八歳以下が二四二一六卽ち三割六分は娼妓と同樣の醜業を營むべく強ひられて居るのである。これが兒童虐待でなくてなんであるか。

英國の如きは二十歳をエージ　オブ　コンセントとして何人の同意を得たることもせよその年齡以下の婦人と醜行ありし場合には强姦罪として處斷さるゝ事になつて居る。外國にてはかくまでに婦人を保護しつゝあるに、日本にては公然と組織的に兒童を虐待しつゝあるのである。しかも淀橋の町長、議員、十二社の地主諸君は平然としてこの非人道慘虐なる行爲に對して裏書する事を敢てしたのである。淀橋の町會議員諸君はその子弟に遊ぶべき場所を設けてくれる積りなのであらう。もしも自れの婦女が金に困つた時には斯くして貞操を犧牲にするものだと云ふ事を示してくれたのである。

國際勞働會議の決果職業なくして苦しんで居るものより手數料を取ると云ふ理由はないと云ふ事になり、內務省ても各府縣有營の職業紹介所を設けさせて失職者を紹介して居るが、依然として手數料

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

のかゝる私立の紹介所がある。それ等は藝娼妓、酌婦の紹介所を重なるものとして居るが、これ位弊害の多いものはない。もしこれを廢したならばかうした種類の紹介を何處でするか。まさか官營の紹介所で藝娼妓の紹介も出來まいし、出來たにした處が國際勞働會議にそれを報告するに何と云ふ名目にしたらよいか。藝娼妓の職業を何んと書くか、醜業婦と書けば日本は醜業を公然と認めて居る樣で外聞がよくない。さうかと云ふて雜業としたら日本の雜業の中には醜業も雜つて居ると云はれるであらう。かうした事で當局者も困つて居るのだが、こんな外國に聞えて恥辱となるべき職業を職業と認める事は正しい事であるか。然るに淀橋町長、議員その他の人々は今日までなくてすみたる所へもう一つ設けんと云ふのである。國辱をもう一ヶ所多くせんとするのである。かゝる無恥なる運動を起したとは私々の怪訝に堪へざる事である。

（下）二業組合設置の影響

淀橋の町長及び議員諸君は小學校の新設、水道敷設、道路新設等の爲めに金が要ると云ふ。彼の諸君は金さへ得れば目的さい善ければ手段は選ばないと云ふのてある。若い娘等に醜業を營ませて子弟を養成する金を得やうと云ふのである。天草地方で娘を外國へ醜業に出して何百人かの中に儲けて歸る娘があるので、我れも我れもと外國へ出稼するが、これは國辱の優なるもので、識者間には如何にしてこの弊風を矯めんかと苦心して居るのに、淀橋町民は今やそれを學ばんとして居る娘の醜業に依つて儲けた金を慢りとする天草の親達と同じく、藝者屋待合から徴收した金で町を經營して行かうと云ふのである。我々は自分の娘に醜業をさせて左團扇で生活して居る人を見る時にどんな感じがするか、又そうした人を尊敬する事が出來るか。同じ意味に於いて淀橋町は醜業によりて得れる金で町費を補うて行かんとして居るのである。何人かこれを善良なる企であると云うて讃めるものがあるか。彼等は云ふかも知れない。醜業を行ふものは自分の子女でなくて他人の娘であると、そんな事を云ふものは人と人との關係を知らないものの言てある。金を消費するものは町のものてない外のものだからと薄情な考へがあるかも知れない。しかし世の中はさう簡單には行かない。昔英國の西ロンドンに住んで居るロバート、ピールと云ふ富豪が、やはり西ロンドン一流の仕立屋に娘の着物を仕立てさせた。註文されたのは西ロンドンの仕立屋であるけれども、仕事を受け取つたのは東ロンドンの貧民窟のオカミさんであつたが、金を欲しい爲めに熱のあるのを無理して仕上上げたが、その翌日腸窒扶斯の爲めに死んで終つた。然るに一方西ロンドンの富豪の娘はその美しく出來上つた着物を慢りがに着たが、窒扶斯に掛かつて仕立たのだから、病氣が傳染して死んで終うた。自分は西ロンドンに住んで居るから東ロンドンの貧民窟の苦しめる女には何の關係もないと誰れが斷言出來ようか。淀橋の藝妓屋問題でも醜業をするのは自分の娘ではない人の娘だと云うて居る中に、やがて自分の子息がその捕虜となり自分の娘が淫賣婦とならぬと誰れが斷言出來やう。心は必ず事に觸れて起るものである。若き人々の爲めに危險なる設備をする事はそを利用せよと默認する樣なものてある。更らに疑問とするのは斯の如き

Digitized by Google

Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

婦人を虐待し蔑視する營業を何とも思はず決議して歸つた議員諸君はその妻の顏をどんな心で見たか。婦人は金の力によつて自由になると云ふ女性を蔑視した心持で見なかつたか、子供に對してどんな心持で見たか。

東京府の紹介營業に關する調査に「一藝妓となる本人の事情」を說きて

一、本人の希望
二、本人の虛榮心

本人の虛榮心より來るもの多く、例へば近隣の者が藝妓になりて正月、盆、其の他何等かの用事の場合に綺羅を飾りて歸宅すれば、其時代には之れを甚だ耻辱と心得しが、最近は却つて之を一種の誇りとして自宅に出入するなり、しかも此者が成金流の妾、又は娼女等になれば、彼等は一生涯貧苦に暮らすよりも遙か優れるものとして、之を羨望し、近隣の婦女子も藝妓たらんとする希望を起すなり。殊に其の父母は將來は其の子女を藝妓たらしめて、自己の安逸を圖らんが爲めに、之に藝妓たるの下地、即ち遊藝其の他の作法を敎ひ將來藝妓として仕立るもの多し。

これを見ても近隣に藝妓屋の存在する事は風紀上よろしくない事がわかるであらう。諸君は近所の娘の中より藝妓となるものを出し、其の娘を藝妓に仕立つるものを多く出すに至るなるべし。

諸君は藝妓をするものは他の娘である醜業に從事するものは自分に關係のない女のみ思ふて居るから、あゝした決議も出來るのだ。それが自分の娘であつたらどうだらう、そんな眞似は出來まい。

嘗つてホレース、マンは或る感化院の開院式に臨んだ時に「此の設備によりて一人の不良少年を善化し得ば幸福なり」と演說した人々はこの大設備によつて唯一人位を善化したのでは割に合はないと思うて居ると、彼れは「その一人が我が子であつたとして考へ見よ」と言へり。一人の娘なら一人や二人はどうでもよいと思ふかも知れぬが、それが自分の娘であつたら何うだらう。淀橋町の爲めに金を作つてくれる醜業婦は誰れかの娘ではないのか。こんな眞似して金を造れば墓穴を二つ堀るものである。最も近い例は昔は御殿場には貸座敷がなかつたので、貸座敷に上らうとせば沼津まで出ねばならなかつた。それでは不便だといふので村の有志が株主となつて一軒の貸座敷を設けた。今まで不便だつたのが便利になつから、その貸座敷は繁昌した。その結果最初の三四年間に五十軒の家が破產した。一軒五人と見て二百五十人の人が路頭に迷ふ結果となつた。それなら株主が益かつたかと云ふに株主は益かるからと云ふので相談ごとにそこで飮んだり食うたりしたから、貸座敷も遂ひに負債の爲めに立行かなくなり主人は水に陷つて死んで終うた。この例などは無い處へ一軒出來たので最もよく結果がわかるかつたのである。

淀橋に於ける問題も恐らくこれと行方が違ふとは云はれまい。他人の娘を醜業に從業させ自分が甘い汁を吸ふと云ふのは何れは同じ結果になるにきまつて居る。もしそんなものが出來れば淀橋の不良老年や、不良青年がそこに集るであらう。そして淀橋町の風紀は次第に亂れて藝妓や醜業婦が諸君の娘の中から續々現れ、子弟の間から遊蕩兒が生るゝであらう。

私は淀橋町會と町民諸君に告ぐ、斯の如き世界に顏出しの出來ぬ職業によつて町費を生み、子弟を陷入るゝ穴を堀らんよりはもつと眞面目な方法によりて增收の方法を取られん事を望むものである。

悩める婦人に代りて

東京女子大學學監　安井哲子

脅かれれたる出來事

今日は廓清會と東京青年會とが聯合されて、私共淀橋町民のために、將に設置されんとする二業組合の反對演說會を開いて下さいました事を感謝致します。

私は淀橋町の委しい事情は能く解りませんけれども、町の發展に就ては常に多大の同情を持つて居ります。先般、我淀橋町の代表者たる町會議員たちが、十二社の一部に藝者屋待合業を設置せんとして、而かも全會一致で決議されたと聞ひて、私共は脅やかされたる其出來事に對し、非常に憤りもし、歎きもしたのであります。この問題は町民が一致して、飽くまで反對すべき事件でありまして、私共は女性として、町民として、敎育家として、町民や社會風敎に携はる人々と倶に、徹底的に反對する覺悟であります。

この問題の突發したとき、私共と同じく驚愕に悩まされた婦人が多數であつたと思へます。

率先して反對運動の表明

問題の起つた時に第一に私を尋ねて下すつたのは、大森安仁子さんでございます。この婦人は米國のお方で、日本の大森兵藏さんの夫人でありますが、今は未亡人となられたのであります。未亡人の手で有隣園と申しまして、專ら社會事業の團體を經營して居らるる最も奇特な婦人であります。

その時に大森婦人は手を痛めて居られました。しかし忌はしい藝者町を設置するといふことを聞ひては凝つとしてゐられない、と恁ういつて私を訪れて下すつたのであります。そして貴女は敎育事業にたづさはつて居られるのだから、眞つ先きに反對の意志を表明していたださたいと言ふのでした。

私は他から勸誘を受けるまでもなく、憤慨もし、歎きもしてゐたのですから各家庭のため、町の子供の爲、長い間の私の立場から、より善くせねばならぬ、よく育てやうと思つて居る矢先の事ゆい、私はどれほど悲しみもし、歎きもしたか知れぬのであります。そして手を痛めながら、率先して奔走される大森夫人に私はほんとうに共鳴したのであります。

淀橋町婦人の自覺

私共淀橋町に住んでゐる婦人たちは、此際大に考慮せなければならぬのであります。既に町の有力なる婦人たちは、期せずして一時に起り、反對運動をすることになつた。そして反對の理由に記名調印して警視廳に不許可を出願する段取になつて居ります。私は元から淀橋町の者ではない。町に學校をもつて居る關係上淀橋町に移住してから、僅か四年位ですから、町の委しい事情は知りませんが、外部から見渡すところ、中野町、代々木などは比較的職業を持つた婦人、商業の人々が、かたまつてゐるのであります。知識階級や勤め人も住んでゐるが、矢張

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

り商賣人が一番多いやうであります。從つて住んでゐる人も、婦人達も種々と樣子が變つてゐるけれども、今回の出來ごとに對しては、尠らず反對運動を叫んだ。私は淀橋町の婦人が如何に自覺してゐるかを見て、一面頼く感じたのであります。

人道の立場から

女性が結婚してから、種々と不純な空氣が家庭に漲つて、嘗て豫想しなかつた苦惱を感じ、心では反感を抱きながらも徒らに因襲にとらはれ、環境を考慮して聲を先きに出すことが出來ず、亡び行かんとする婦人がどんなに多くあるか知れない。私は同性として、虐げられ、壓へられ、脅やかされて居る婦人達の爲に、何十倍、何百倍の勇氣を出して決心したのであります。

しかしこれは單に淀橋町の婦人問題としてのみ取扱ふべきものではない、廣く人道上の立場から、眞劍に反對すべきであると思ふのであります。勿論反對する人々の立場は異るかも知れない、自分の家庭上の經驗から反對する人もありませう、また社會問題として取扱ふ人もありませう。殊に同情すべきは、娘の結婚問題が豫想に反し、その不幸が動機となつて、反對運動に共鳴する人もあるのであります。

私共のやうに家庭に於ける苦るしい經驗を持たぬものは、人道上の立場から反對するのであります。私が反對の意志を明かに致しました時、私に或る哀れむべき婦人から手紙をもらつて、大變泣かされたのであります。私は最近それほど泣かされたことはありませんでした。

惱める婦人の告白

その婦人は神田に住んで居られるかたで、私共の反對運動が新聞に出ましたとき、一面識のない其婦人から手紙をいただいたのであります。自ら無教育だと告白して居られるが、手紙の文章から見ても教育を受けた婦人とは思はれない。その內容はかうなのです「私達夫婦のものは、過去に於て極めて貧しかつたのだが、十年間殆ど寢食を忘れて働いた。其結果、たいへん生活が豐かになつて今では多くの雇人を使ふやうな身分になつた。怎麼な職業であるか、それは解りませんが兎に角現在では、相當の資産家になつた、然るにそれと同時に、主人が社會のいきさつから、藝者などに接する機會が頻繁になつた爲め、富が增すと共に主人の考へが、不純な心持に變つて、だんだん冷めたくなつてきた。家庭は次第に陰欝なそして闇黑な空氣が漲つてきて、十年間共に苦勞をした賴母敷い心持は少しも主人の心に見出すことが出來なくなつた。今では主人の受けた惡性の病氣が私に感染して、身體も自由にならない。私は長くは生きられない、もう亡び行くものと覺悟してゐる。しかし、廣い社會には同じ境遇に泣く女性が尠くあるまい、私はそれ等同性の爲め、眞劍に盡したいけれど、今は怎麼することも出來ない」といふ意味であつた。それから尚ほ次きのやうな實に深刻なことか書いてありました。

百年、千年かゝらうとも

今朝の新聞を見ると、貴女は淀橋町民のために奮起された、私は心强い、一面識もなく甚だ失禮だと思へましたけれど

止むに止まれない、抑へやうとしておさへることの出來ない胸の悩みを貴女に訴へますどうか私共の境遇、私共の考ひが善い結果を見ることの出來るやうに御盡力下さい」と云ふのであります。尚ほ私を泣かせたのは、「私が死後百年かゝつても、千年かゝつても、どうか此問題が善きやうに解決されることを祈つて居る」といふのです。何たる悲調でせう、その婦人が主人の過去と現在とを思ひ合せて感慨が無量であつたらうと私は泣かされたのであります　私が悩める婦人に代らうと、益々熱心になつたのもそれがためであります。

若き人々の重き責任

今回の出來ごとは單に淀橋町だけの問題でなく、嚮にも申したやうに社會全般の問題、人道問題であります。ですから獨り淀橋の町民ばかりでなく、何處、那邊に住んでゐる人々でも顧慮すべき問題であります。私共比較的小數の者が結束して、皆さんに戰を挑むのもではないのであります。今晩此所にお出でのかたは大多數靑年であることを、私は力強く思ふのであります。私は常に女學校にばかり居りまして、今の若い女子が結婚といふことを何う解してゐるか、また如何に恐怖心を抱へてゐるをか見るのでありますが、私は婦人が公生涯に於ける色々な權利を主張すると共に、常に義務の觀念を持たねばならぬと思ふのであります。我日本の將來は淸き靑年諸君によつて女子を導き、淸い家庭を作らんとすることを私は老人として望むのであります。男も女も一致して盡すところがなければならぬ筈だと思ひます。どうか一致して眞劍にやつて貰いたいのであります。

虐げられたる可憐な女性

現代に於て色々なる問題が起つて居るけれども、要するに其對象となつてゐるものは、貧しきもの弱きものゝ人格を尊重せねばならぬ。個人の人格を尊重せねばならぬといふことであります。人間として當然持たねばならぬ生命をたもたねばならぬ。うけねばならぬものを受けねばならぬ筈であります。然るに事實上、哀れむべき婦人が出來てくるのは時代措誤と云はふか、實に矛盾した事實であります。凡そこういふ婦人ほど悲慘なものはありません。彼等は貧家に生れ、最も愛さるべき兩親の手から人格を無視されて、知らぬ他人に賣られ、自分の意志がありながら、他の意志のみに屈從して、多くの野獸に似たる人々の犧牲になるのであります。これほど悲慘事がありませうか、私は同性として、深くそれ等の婦人に同情するのであります。

恁うした婦人に接近する男子は、低級な人々に多いかと申しますと、それは却て知識階級、有産階級であつて、道理のよく解つた、人を支配する地位になる人々に多いと云ふに至つては、何たることでせうか。

無分別なる代表著

今回十二社に藝者屋町を決議した人々は、皆わけの解つた町政を司る任務にある人々の目論見て、最大多數の無産階級のものは、其支配を受けねばならぬのであります。淀橋町の代表者は何といふ恐ろしい計畫を考へたのでせうか、警視總監に宛てたる願書を見ると、風紀を改善する爲、教育を盛んにするため、町の

Digitized by Google　Original from COLUMBIA UNIVERSITY

發展を計るために藝者屋を設置するといふ理由であります。私の口から云ふまでもなく、何といふ非常識な淺さい笑ふべきことでせうか、それを決議したる代表者たちは、勿論、人の親であり、兄たるべき人であります。自分の子弟を中學なり女學校なりに入れてゐる人と信じます其親であり兄たる人々が、何を苦るしんで、自分の子弟等の心を害するものを設けるのでせうか、實に無分別なことであります。

私の住んでゐるところは中野町であります。町民は教育事業のため、正しき寄附金をなしてゐる。隣りの町では教育の神聖なことを諒解して、應分の寄附をしてゐるのに、その隣りの町では忌まはしき藝者屋を設けて、その金で教育を盛んにするとは、實に唾棄すべきことであります。東京市制調査會では都市を改善しやうとして、アメリカから專門家を招いてゐる。然るに市を去ること遠からざる淀橋町では町の惡化を企圖するのであります。子供の心を害し、家庭を非教育にすることを考へるとは、何たる考へかたでせうか、斯の如き無分別なる代表者たちに、町民自らの責任を任せるのは危險千萬であると思ひます。

婦人に選擧權はなくとも

私共婦人には撰擧權はない、しかし盡すべきことには盡すべき筈であります。代表者の無責任なる計畫に對しては飽くまで反對せねばならぬ。反對するばかりでなく、徹底的に代表者に反省を促し、そして反對運動を遂行すべき義務のあることゝ考慮せねばならぬと思ふのであります。十二社といふところは、神社もあつて古來清らかな土地とされてゐる。町の人々が時々參拜して敬神の念を涵養すべき神聖なところであります。參詣人の清らかな心を傷けたり、惡影響を及ぼすやうなことがあつてはならぬ。それ故に十二社附近は常に最も清淨にすべきは云ふまでもありません。然るにそこに藝者屋が設けられるといつても、神社の宮司が何等反對の意志なきは如何なるわけでせうか。附近には明治神宮もあり、そこへ參拜する人々の畏敬の心に向つてどんな惡影響を及ぼすでせうか、これまた思慮ある人の先づ顧慮すべきことゝ思ふのでありますが、宮司其人が、毫も反對を云はぬのは如何なる譯でせうか。淀橋町や其附近ばかりでない、地方から參詣に來る人ふの目障りになるにも係らず、毫も反對を云はぬといふのは、何を考へてゐるか少しも見當がつかぬのであります

都市計劃と西洋婦人

東京市制調査會の顧問として、遙々米國から招聘したビアード博士に私共は逢ひました、夫君に劣らぬ都市問題の研究者なるミセス、ビアードを訪ねたのであります。そして都市計畫の意見を聽いたのであります。米國では都市計畫を遂行する前に、其市の婦人たちが、自分の仕んでゐる一部分〳〵の婦人が、一部分の小さい仕事を集めて遂行するので、それが彼方にも此方にも、そうした事をするものであるから、遂には大きな結果となつて、秩序ある都市計畫が出來るのだと申されました。日本婦人の都市計畫に對する理想はどんなものであるか、それを聞きたいと云はれたとき、私の友達は赤面する外はなかつたのであります。私は都計畫に對する倶躰案はないけれども、

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

眞剣な心持で分相應の働きをして進みたいと思ふのであります。

美化、惡化。醜化

私共は最もよく都市を美化しやうと努めてゐるのに、一面に於ては却て惡化しやう、醜化せやうとするが如きは大なる矛盾でありますが、十二社は神社もあり遊園地として遊ぶにも極くよい場所で、親子一家揃にて淸遊に最も善いところてあります。斯のところは更らに美化するのが當然であるのに、代表者達は却て惡化し、醜化せやうとするのであります。若し亞米利加の婦人だつたら、もつと十二社を潔め、美化したに相違ない、淀橋町の婦人は力弱くして美化することが出來ぬのであらうか。外國では子供が集つて遊ぶところには、特によく遊ばせる計劃さいあるといふことであります。今外國の例を取るにもあたらない。淀橋町の人々がそれ等の考の及ばれぬのを痛歎するのであります。

歇むに歇まれぬ私の心持

私共は家庭の問題や社會問題の起つたとき、家庭の悲慘を救ふ爲め、兒童を健全に育てるため、最も眞剣なる考をもち婦人として、人間として極力盡さなければならぬと思ふのであります。私は歇むに歇まれぬ衷情から、惱める婦人に代つて切望するのであります。私は最早老人でありますが、老人として將來ある青年のかめに懇願致します。どうか眞剣な考をもち、新らしい學問をして、人道の問題のために盡力していただきたい。困難を排して努力するのはどうしても靑年である。將來のある皆さんが神聖なる考をもつて、どうか盡力していたゞきたいのであります。

若し卽時に效果が顯れずとも、何十年何百年、何千年の後に至つても、どうか善きやうに解結されんことを望むのであります。嚮にも申ましたやうに、女學校にばかり居りますので、男子のかたに御話する機會は尠なかつたが、圖らずも若い皆さんにお話するの機會を得て、私共の止むに止まれぬ苦しい衷情を訴へ、眞に哀れむべき深刻なる女性に代つて、よきやうに解決されんことを切望して止まぬのであります。(講演大要文責在記者)

娼妓年齢別

（括弧内は黴毒罹患數）

年齢	大正七年	同八年
一八—二〇	七、四二二（四七）	八、一六二（四九）
二〇—二五	二七、二一八（一〇五）	二八、三七七（一三七）
二五—三〇	一〇、八八一（八一）	一〇、六四二（七五）
三〇—三五	二、二七〇（三〇）	二、一四一（三二）
三五—四〇	[illegible]四三四（二）	[illegible]三七一（三）
四〇—	四七	四一
合計	四八、二六二（二六六）	四九、七四〇（二九八）

藝妓年齢別

年齢	大正七年	同八年
一二	四二八	五〇二
一二—一八	一九、九七〇	二三、七一四
一八—二〇	一一、四五五	一三、六九九
二〇—二五	一四、一八五	一五、六一九
二五—三〇	六、六二二	六、七六七
三〇—三五	三、三七四	三、六六八
三五—四〇	一、六七六	一、八〇六
四〇	一、四五一	一、五九七
合計	三九、一六一	六七、三七二

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

兵庫縣の公娼改革に就て

木藤冷劍

神戸福原遊廓の改革問題は縣當局及港川警察署に於ても永年宿題として取扱つてゐたが、高見署長赴任以來鋭意調査を進め、貸座敷の營業方法娼妓の待遇等具體的の改革案を作り、上司の意見を伺つてゐたが、衛生課は一議に及ばす保安課に於ても大體の趣旨に賛同したといふので、十月二十三日に貸座敷の九十一名の樓主を招致して左の十一ヶ條の改革案を出し、懇談的に諮問したのである。第一、娼妓の姙娠並に生兒を保護する件である、姙娠娼妓の保護は各地に行はれ居る事は本年九月號に掲載したから茲には詳細を省略するが娼妓がどれ位姙娠するかといふと昔から娼妓は子を生まないものとしてゐる。稀有の珍事としてゐる否片輪のやうに言ふてゐる、彼等は營業上より絶えず洗滌をなし、局部を冷却したり、夥多しき接客のために姙娠の出來ないものになつてしまふ。斯界の先覺者上村行彰氏の調査する所によれば五千六百四十七名の內、娼妓となつてより姙娠せし者、僅かに十六人（內流產、死產各一人他は生產）即ち總數より稀の事である又濱井照人氏の調査によれば千人に對し十五人の割であつたとの事である。

今回の改革案の內容を見ると第一項の姙娠娼妓は受胎後五ヶ月[illegible]過・分娩後二ヶ月以內は休業せしめ、又分娩に關しては一切の費用を樓主が負擔し分娩後も一ヶ年間生兒の養育費を支辨し、それ以後猶二ヶ年間の養育費を貸座敷業組合で負擔し・養育費補助として一ヶ月拾圓宛を支給する事、即ち生兒は滿三ヶ年間面倒を見てやる事となり、若し其期間內に生兒を他へ養子女にやる時は、養育費の殘額より一時支度料として金圓五十圓以內支出する事といふのである。

第二は、公休日の問題である。公休は從來春秋二回慰安會を催し、娼妓の此間だけ休ませてゐたのを、今度は毎月一回宛全休を與へるといふのである。

第三は娼妓に休養室を與へるといふのである。娼妓の休養室は從來上部屋と稱し一同を一室に入れて休養させてゐたがそれでは充分安眠も出來ず、衛生方面からもよろしくないので、今後は各自の部屋で自由に休養せしめる事に改るのである。

第四は廻し制度廢止に關する件である十一ヶ條中最も樓主の痛棒は之であらう現在の營業は時間遊として花（廻し部屋）部屋花（本部屋）の外漂客には普通廻しと部屋廻し二階仕舞、仕舞切等區別され非常に繁雜で其間・漂客か案外な遊興費を出させられたり又娼妓も一夜數人の客に接し精神的にも肉體的にも少なからず疲勞と苦痛を感ずる事となる（拙稿七月號兵庫縣の賣笑婦の項參照）

これは人道上から見ても等閑に附すべきでないといふので、張店時代の因襲は斷然廢止し、時間花制度に一定し、廻しを廢して客一人に敵娼一人と定め、玉代も一本何程とする斯くなると從來娼妓數に對し其幾層倍にも當る部屋數だけ客を

吸集する事が出來た樓主側は、收入上大打撃を受る事となり結局花代一本を幾何と定める事が問題となつたのである。

第五は娼妓に對する抱主の負擔を明かにすること、從來娼妓を抱へる際取交した契約書に、娼妓の衣食住就に稼業上に要する諸費の負擔を相當細密に掲げてあるが、尚不充分な點があるので、部屋道具等に關し一層精密に其負擔を明記させ又積立金の保管は必ず郵便貯金にすることとする。即ち娼妓各自の名儀で預入れ通帳は樓主が保管し印形は娼妓の保管となす等、何れも娼妓の優遇を目的として立案されたのである。

以上は重に娼妓の待遇改善に關する條項である。

以下は貸座敷の營業に立入つたもので妓夫の廢止、飲食物價格掲示の件、客の祝儀を廢止して給料制度と爲す件、案内方法の件、娼妓の玉代掲示に關する件貸座敷の雇人制度は雇人をすべて女子とし現在の男雇人 妓夫を廢止する事等てある。

向ふ一ヶ年間を期して廢止せしむ、但し彼解雇者に對しては出來得る限り就職口を周旋する事。飲食物價格は暴利を貪らず相當の價格を定め主なる物の價格は各客室に掲示する事。客の祝儀を廢し從つて從來雇人の無給制度を爾今給料制度になす事。店の出入口には向ふ一ヶ間以内に街路より望見し得ざる樣輕便にして體裁よき扉を設け、客の案内は此の内にてなす事。但し案内者は二人以上たらざる事、娼妓玉代は店頭見易き場所に掲示する事但し其樣式は體裁よきものにて可成一定にする事である。

此項中妓夫の廢止が問題となつて反對運動をなすかも知れんが當局は耳を藉さない方針であるとの事で、其廢止の理由は從來喧嘩の絶え間のない福原遊廓は、妓夫其ものが殆んどゴロつき肌で、客が惡素見をすると直ぐに喧嘩を吹つ蒐けて毆る、毆られた者が線を傳つて地廻り連の助力を得て仕返して來るといふ有樣で先づ福原のゴロを一掃するには妓夫を廢止してからでないと駄目であるといふのが主眼て、松島其他の遊廓で妓夫を廢止してから喧嘩を見たくてもない樣な好成績を納めているとの事であるが、樓主側の意見では全部廢止は六ヶ敷い半減位を希望の由である。現在遊廓で妓夫太郎を使用しているは、吉原、洲崎、横濱、靜岡、等の四ヶ所である。

祝儀の廢止は現在福原に七百人の鴇女や妓夫が居るが月百圓以上多きは三百圓の收入を得ているが是は百害あつて一利もない從つて早晩祝儀は廢せられ給料制度とすべきものである、茲に妓夫太郎の會話がある、神戸又新日報記事中に「嫌なこつたテレ臭くて見られた態ぢやない、凡そ天下で此の位男の估券を下げる商賣はあるまい頭はペコ〱と鳩が豆を啄く時のやうに下げるし揉み手でやんはりと出て來る格好つたらあんな男の首が飛ぼうと飛ぶまいか問題ぢやない事が問題だ「金は穢なく儲けて美しく散らすもんぢや素見客が妓夫を尻目にかけて「ヘン此腰抜け」と見るから既に間違て一ヶ月少も百圓多い時は三百圓の懐金が轉げ込むのである」とこんな事がかいてある。夫で店先では 妓夫「イヨウ旦那大變な御機嫌でまあお這り御安値に如何樣で旦那は何時も陽氣てヘツまあ〱何卒」客、オイ然う樂るなよ有難えな俺だつて斯うしてりや陽氣に見ろえてんだか仍且つ不景氣の祟でなまあ見逃して貰おうかい」妓夫「冗談ッ冗談言つちや不可ません旦那が不景氣なんて信用はしませんや然う言はずと淡白遊んでやつてお異んなすつて」客「うんにや不可れえ、今夜はさつぱり詰まられえから又出直して來る事にせう」妓夫「旦那焦ちすもんぢやムりませんやアア寫眞など御覽なす

Digitized by Google
Original from
COLUMBIA UNIVERSITY

って可愛い妓ばかりてへイそれ御案内ッ」といふたやうな恰好だこんな事を仕事に飲を食ふ奴があるかと思ふとつく／＼なさけなくなつてしまふ、堂々たる男子が全く見られた態ではない斯くの如ぎ者は斷然廢止して彼等には正業につかしむべきである、此は神戸のみではない本縣下に及んで大改革の鐵槌を下したのである。新川廓ては左の如し

一、從來娼妓の髮結は自身の負擔となつていたが、今回樓主から六回分一圓五十錢を支出する事

一、キレ紙は從來娼妓自身の負擔で一晩平均一帖を使用していたが今回樓主から一ヶ月三貫與える事

一、從來營業上の寢具は廻し部屋だけ樓主の負擔であつたのが今回全部樓主に於て負擔する事但し姙娠の場合だけ娼妓自辨の事等の項目がある。

又一方臺物の値下を勸告している。神戸では臺屋から貸座敷に賣込む臺物の値段は一枚拾五錢で、貸座敷がお客から取る勘定は一枚參拾錢となつている。臺物か十割である。

大坂の松島遊廓では此十月から値下して左の如り定價を引下げた。臺物並等（酒三本肴二鉢）三圓を二圓五十錢に、中臺（酒五本肴二鉢）四圓を三圓に、大臺（酒六本肴三鉢）五圓を四圓に、清酒一本三十五錢を三十錢に、ビール一本七十錢を六十錢に、親子丼七十錢を五十錢に値下した。神戸福原に於ても改革と同時に、不法な暴利を改めなくてはならない。茲に遊廓側の姙娠娼妓の統計によると一ヶ年分娩か平均十人で内五人は死亡し後五人が生育している譯になつているとの事である。今回の改革を飽くまで斷行せられ虐ぐられたるものに福音を與へ、歩一歩と公娼廢止に向はん事を切に祈り當局の英斷を望むのである。（十、二八、）

悲慘過ぎる獨逸の生活

戰爭の影響で風俗が大分變つた、驚いたのは小學童が伯林でも場末へ行くと、盛んに裸足で歩いて居る。其麼ことは戰前には想像も出來なかつた事である。それから獨逸計りてはないが、婦人の風儀が一般に頽廢し、煙草もやれば酒も呑むといふ具合で、とりわけ獨逸婦人に甚しい樣に見えた。

次ぎに獨逸人の家庭に親しく接しては、その餘りに慘めな生活に成り果てたのに驚いた。彼の國でも上流に屬する世界に相當名を知られて居る大學教授達の家庭でも、お話の外の悲慘な生活振りである。此ゝ知識階級の人達は毎日肉無しで生活する方法を考へて著して居ると云うてもよい程に、經濟上の壓迫を受けて居る。だから現在獨逸の大學教授一ヶ年の俸給は、日本から往つて居る留學生一ヶ月の學費にも足らないのであつて、その困難の程度が推察に餘りある。

私はよく其の人達の家庭に招待されて行つたがいづれも食卓の上は誠に日本人としては想像も出來ない位寂しいものだつた。然しそれでも其れ等は皆、あちらの人達にとつては實際非常なる御馳走だつたのである。ある有名な哲學者の招待の折は、先方では最善を盡しての御馳走だつたが、それでも食卓に竝んだものはソップと肉の少し入つたものと、それからイチゴにゼラチンを交ぜたものと三品だけでその他は茶と僅かに一杯のリキュールであつた。その他大學教授が三四十名も集るやうな大きな招待會でも、大抵はサンドウイッチ位でテーパーテイに過ぎなかつた。

（井上博士談より）

個人消息

□主事伊藤氏去月下旬慰勞の爲めに一週間計り郷里久留米に歸郷

□安部副會長野球部を率へて去月十二日東京發關西方面を講演旅行、下旬歸京

□內ヶ崎理事は去月十五日の日曜より巣鴨講話會にて毎日曜宗教文化講座の講演を續けられつゝあり

Digitized by Google
Original from COLUMBIA UNIVERSITY

編輯の後

□本號は特に淀橋問題に關する我等同志の意見を發表する事に致しまして、大半を其れに献けました。それと共に會員外の方で本會の運動に對して同情され、講演その他少なからざる御後援をして下さつた方に對しては深謝する次第であります。尙淀橋問題に關する經過等は本誌二十四頁にありますから御覽下されば御解りになる事と思ひます。同時に諸家の論說を御讀み下さるならば如何に淀橋の二業請願なるものゝ世人を愚にしたるものであるが窺はるゝであらうと思ひます。故に愛讀者諸君に於かれても正義、人道延いては風教の爲めに本會の運動が好結果を得る樣に御助力下さる事を御願ひ致します。

□本會は或る人々の利益の爲めに、或は政黨的な利害の爲めに存するのでなく、日本の恥辱であり世界唯一の蕃風なる奴隷制度則ち娼妓及び藝者の廢止を主眼として働いて居るものですから、かうした存在に對して不滿を懷いて居らるゝ方は我等の同志であり、同情者である譯ですから今後共一層協力一致して醜惡なる制度の廢止に向つて進みたいのです。

□我等はこれから現在までよりももつと積極的な運動をせんと思うて居ります。これには會員諸君の多大なる後援を要する事でありますが、今後可成月一回以上地方に於ても講演會を催して强大にして實力ある運動たらしめんと思ふのであります。て地方にて講演會を希望さるゝ方はお申込み下さるならば出來得る丈けの御希望に添はんと思うて居ります。又東京に於てももつと具體的な運動を起さんと只今計畫中です。思想實徴には宣傳と同時に實際運動も必要であります。我々の姉妹が奴隷制度の犧牲になつて群衆の中に晒物にされて居るのです。悲しむべきは色々な理由からして覺醒されて、晒物にされて居るのさへ氣が付かずに居るのです。我々がもし路上で病氣の爲めに人事不省になり醜體を現はして居る人を見たらどんな氣が致しますか、よもやそれを笑ふ心や、無關心では居られないと思ふのです。これは何とかせねばならぬと感ぜずには居られないのです。然るに公衆の前に晒物にされて居る我々の姉妹に對して何の感もないとしせばその人は路上の病人を見殺にする人で公德心なく正義も人道も無視する人となるにきまつて居るのです。彼等は云うであらう。路上の病人は不意の出來事でその醜體は自身の知らぬ事であるから世話するが醜業婦は自分でなつたのだから關係がない自分で反省したらよいではないかと。けれどもそれは躓きの石を路上に置いて、轉げた人を馬鹿と罵る類です。彼等が醜業に從事する事を恥辱と感ぜぬ樣にしたのは誰れの責任ですか。我々は皆社會生存上連帶の責任を持つて居る筈です。彼れが墮落されたる生活を尙人生の一部と思うて居る樣に誰れがしたのです。我々に全然責任がないとはどうして云はれませう。しかしこゝに注意して置かねばならぬ事は所謂自由廢業なるものが、必ずしも我々の主張に共鳴したのでなくて單に虐待とか壓迫とか云ふ單純の理由に基くものが多く、心から醜業の罪惡なる事を悟りてするものも少ない事である。苦痛の生活が時に眞理を生み出だすものであるから、彼等の壓迫に堪へられずに自由廢業するのも決して惡くはないが、醜業の罪惡を痛切に感じた結果でない丈けに、實社會に出てより以上の苦痛に遇へば再び逆戻りする者がある故に我等は精神的にも彼等が廢業する事を希ふものである。

□本月になつて娼妓の方で本誌を讀みたいと申し込んで來られた方がある願はくはそれよりも眞の自覺に進する樣祈るものである。

□寒さは次第に烈しくなつて來ました。しかしそれ丈け精神的に自省し。反省する時になつたのです。それ故に寒さに驚ろかずに精神的な運動をする事が無意味ではないと思ひます。それで我々は近い中に横濱支部の爲に安部副會長を依囑して講演會を催さんと準備中です。尙横川へは多分松宮理事を依囑して講演會をせんと思うて居ります。その他二三の地方に於いて是非年内に講演會を催さんと思うて居ります。願はくば會員諸君に於かれても不肖なる我々を御援助下されて終極の目的を達する時の近かる事を祈るものであります。

□地方にて本會の講演會を望まるゝ場合は出來得る丈け御希望に添ふる積りでありますから御相談下さい。

（村上生）

大正十一年十一月十日印刷（毎月一回十日發行）
大正十一年十一月十日發行（一部定價金二十錢）

編輯兼發行人　小石川區大塚仲町四十一番地　伊藤秀吉

印刷人　本鄕區眞砂町三十六番地　佐藤駒次郎

印刷所　本鄕區眞砂町三十六番地　日東印刷株式會社

發行所　神田區表猿樂町十番地　廓清會本部
電話神田四〇二〇番
振替東京二七〇七二番